



dtab Compact

d-02K

取扱説明書 '18.6

はじめに

「d-02K」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ます。

ご使用前の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

d-02Kの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」(本端末のアプリ)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。
アプリ画面(P.51)で「取扱説明書」をタップすると起動できます。

- はじめてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリのダウンロードとインストールを行う必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」→本端末の「取扱説明書」アプリを検索してダウンロードしてください。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。


以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/d02k/index.html>

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

<例> ホーム画面に表示されている  をタップし、アプリ一覧から「設定」を起動する操作手順>

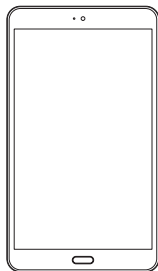
1 ホーム画面で →「アプリ」タブ→「設定」

■お知らせ

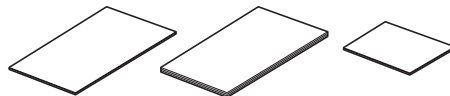
- 本書の本文中においては、「d-02K」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリやサービスなどを追加/変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書で説明する操作手順や画面表示は、画面を縦向きに表示した縦画面表示に基づいて説明しています。
画面を横向きに表示した横画面表示の状態では、使用する機能やアプリによって、表示されるメニュー項目やアイコンが異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、端末色が「Silver」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリの操作方法などは、登録先の都合やアプリのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

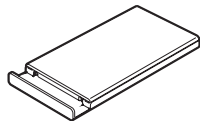
■ d-02K本体



■ クイックスタートガイド／ご利用にあたっての注意事項／試供品取扱説明書



■ 自立スタンド（試供品）



■ カードスロットピン（試供品）



■ ドコモeSIMカード



※ お買い上げ時にはあらかじめ本端末に取り付けられています。

本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

■ 本体付属品	1
■ 本端末のご利用について	3
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください) ..	4
■ 取り扱い上のご注意	12
■ 防水／防塵性能	16

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	21
ドコモeSIMカード	22
microSDカード	25
充電	28
電源を入れる／切る	30
自立スタンド	31
基本操作	32
文字入力	35
初期設定	40
通知LED	40
画面表示／アイコン	41
ホーム画面「シンプル」	44
タスクマネージャー	46
画面分割モード	47
音声エージェント	47
ホームアプリの切り替えかた	47

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた	48
ホーム画面の管理	49
アプリ画面の見かた	51
アプリの管理	56
おすすめアプリのインストール	57
すべてのアプリを表示	57
ホーム画面のバックアップと復元	57
マイマガジン	58
ホームアプリの情報	58

電話帳

電話帳	59
-----------	----

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	63
メッセージ (SMS)	63
Gmail	65
緊急速報「エリアメール」	66
ウェブブラウザ	68

カメラ

カメラ	73
ギャラリー	78

アプリ

dメニュー	83
dマーケット	83
Playストア	84
トルカ	85
YouTube	85
GPS／ナビ	86
時計	88
スケジュール	91
メモ	92
音声レコーダー	93
電卓	93
ドコモデータコピー	94
キッズモード	96

本体設定

設定メニューについて	99
無線とネットワーク	100
デバイス接続	108
アプリと通知	109
電池	110
データ使用量	111
画面	112

音	113
ストレージ	115
セキュリティとプライバシー	116
ドコモのサービス／クラウド	124
アカウント	125
スマートアシスト	127
Google	129
システム	129

ファイル管理

ストレージ構成	133
ファイル	133

データ通信

Bluetooth通信	137
-------------------	-----

外部機器接続

パソコンと接続する	140
-----------------	-----

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要	142
海外で利用可能なサービス	142
海外でご利用になる前に	143
帰国後の確認	144

付録／索引




トラブルシューティング (FAQ)	145
あんしん遠隔サポート	151
保証とアフターサービス	152
ソフトウェアアップデート	154
主な仕様	156
データ通信端末の比吸収率 (SAR) などについて ..	158
GPL／LGPL適用ソフトウェアについて	161
輸出管理規制について	162
知的財産権について	162
SIMロック解除	163
索引	164

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話には対応しておりません。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます(P.125)。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによっては、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや内部ストレージの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページをご確認ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.118）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。







安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、アダプタ、ドコモeSIMカードの取り扱いについて（共通）



危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.16「防水／防塵性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.16「防水／防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.16「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.16「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

⇒P.16「防水/防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2.本端末の取り扱いについて



危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本端末内のSIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているときや待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

突然のバイブレータ（振動）や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器を使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ベットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモeSIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、カードスロットピン（試供品）またはペーパークリップの先端にご注意ください。

カードスロットピンまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒P.11 「6.材質一覧」



指示

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタの取り扱いについて



警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。
ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。



注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

4. ドコモeSIMカードの取り扱いについて



注意



指示

ドコモeSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて



警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ	強化ガラス／シルク印刷
アウトカメラのレンズ	強化ガラス、Al+Si/PETフィルム
外装ケース（背面）	アルミニウム合金 5252／陽極酸化処理
電源キー、音量キー	PC/NCVM
外装ケース（側面、上部、下部、SIMカード／microSDカードトレイのカバー）、USB Type-C接続端子（内部）	PC+GF／塗装処理
背面ロゴ部分	アルミニウム合金 5252／レーザー彫刻
SIMカード／microSDカードトレイ（内部）	プラスチック、PC+GF／レーザー彫刻
SIMカード／microSDカードトレイのゴムパッキン	シリコーン／なし
指紋センサー	セラミックス／なし
指紋センサー（リング）	ステンレス鋼／ハイライト

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- d-02Kは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入ったり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
アダプタ、ドコモeSIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気が多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないよう请使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はSIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモeSIMカードについてのお願い

- ドコモeSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ドコモeSIMカードは、対応端末以外で使用しないでください。
対応端末以外でのご使用は、保証の対象外となります。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモeSIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモeSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモeSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

- 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。
- 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- 8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお問い合わせ

■ 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になりません。


本端末が使用するチャネルは次のとおりです。

- W52 (5.2GHz 帯 / 36、40、44、48ch)
- W53 (5.3GHz 帯 / 52、56、60、64ch)
- W56 (5.6GHz 帯 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「認証マーク」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

d-02Kは、SIMカード／microSDカードトレイを正しく取り付けられた状態で、IPX5^{*1}、IPX7^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにd-02Kを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

d-02Kが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通信ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、SIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - 洗うときはブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.19）。
 - 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- プールサイドで使用できます。
 - プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

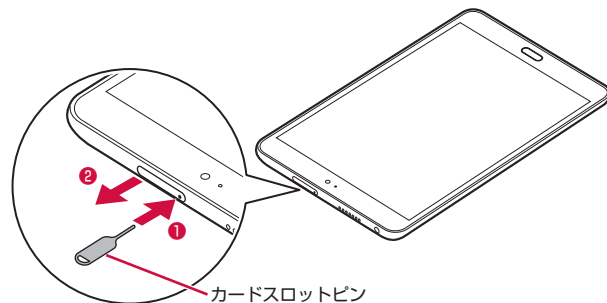
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- SIMカード／microSDカードトレイは確実に取り付けてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホン端子、空気穴などを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- SIMカード／microSDカードトレイのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

SIMカード／microSDカードトレイの取り外しかた

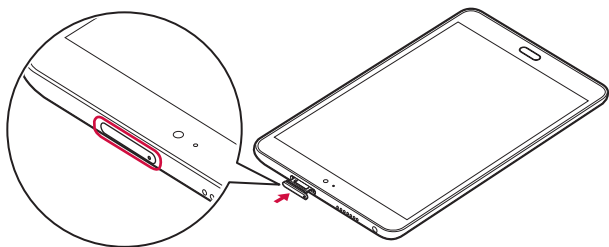
カードスロットピン（試供品）をSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込んで矢印の方向にゆっくりと押し込み（①）、SIMカード／microSDカードトレイを引き出します（②）。



SIMカード／microSDカードトレイの取り付けかた

矢印の方向へSIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押します。

- SIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込むときに、ドコモeSIMカードが浮き上がったり、ずれたりしないようにご注意ください。
- 取り付け後は、本端末とSIMカード／microSDカードトレイにすき間がないことを確認してください。



■ お知らせ

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は本端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹼／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（P.16）以上の強い水流を直接当てないでください。
d-02KはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や砂などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールサイドで使用するときは、その施設の規則を守って、お使いください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- SIMカード／microSDカードトレイが開いている状態や正しく取り付けられていない状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- SIMカード／microSDカードトレイのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 本端末が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

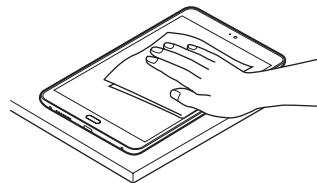
■ お知らせ

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

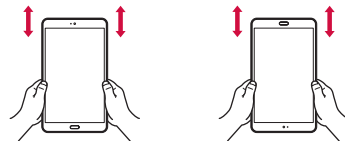
水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

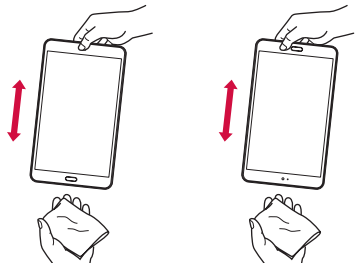


- 2 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、上下の向きを変え、再度20回程度振る



3 マイク、スピーカー、音量キー、電源キー、USB Type-C 接続端子、イヤホン端子、空気穴、SIMカード／microSD カードトレイなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当てて拭き取る

- 上下の向きを変えて拭き取ってください。
- すき間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

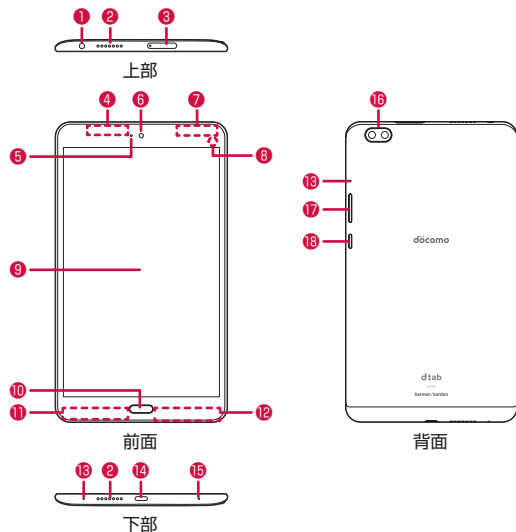
充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、充電してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- 1 イヤホン端子 (P.156)
- 2 スピーカー
- 3 SIMカード／microSDカードトレイ^{※3}
 - お買い上げ時にはあらかじめドコモeSIMカードが取り付けられています。
- 4 GPSアンテナ部^{※1}
- 5 通知LED (P.40)

- 6 インカメラ (P.73)
 - 7 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部^{※1}
 - 8 照度センサー^{※2}
 - 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します (P.113)。
 - 9 ディスプレイ (タッチパネル) (P.32)
 - 10 指紋センサー (P.118)
 - 11 LTE／FOMAアンテナ部^{※1}
 - 12 LTE／FOMAメインアンテナ部^{※1}
 - 13 マイク
 - 音声入力などに使用します。
 - 14 USB Type-C接続端子
 - 充電時やパソコン接続時などに使用します (P.29, P.140)。
 - USB Power Deliveryに対応しています。
 - 15 空気穴
 - 16 アウトカメラ (P.73)
 - 17 音量キー
 - 各種音量の調節やマナーモードの設定、写真撮影などができます。
 - 18 電源キー
 - 電源のON／OFFや、スリープモードの設定／解除に使用します。
 - 1秒以上押すと再起動のメニューが表示されます。
- ※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。
- ※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。
- ※3 SIMカードトレイはnanoUIMサイズです。

■お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモeSIMカード

ドコモeSIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

- 電源が入った状態で、ドコモeSIMカードを取り付けたSIMカード／microSDカードトレイを本端末から引き出すと、本端末が再起動します。また、SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込むと、再起動の確認画面が表示されます。
- ドコモeSIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモeSIMカードの取り扱いについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモeSIMカードの暗証番号について

ドコモeSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます(P.121)。

ドコモeSIMカードの取り付け／取り外し

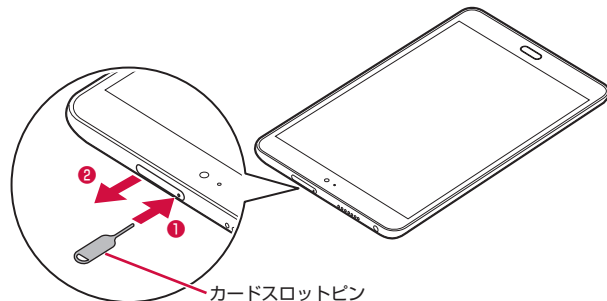
お買い上げ時にはあらかじめドコモeSIMカードが取り付けられています。

ドコモeSIMカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってください。

- SIMカード／microSDカードトレイの取り外しは、付属のカードスロットピン（試供品）をご使用ください。

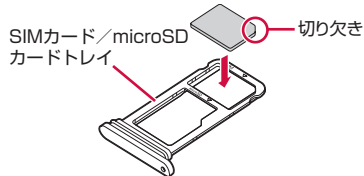
取り付けかた

- 1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む **(1)**
SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。
- 2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す **(2)**



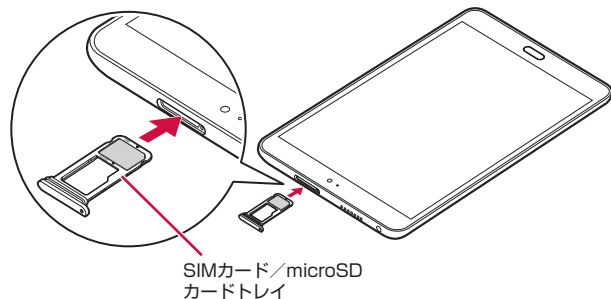
- 3 ドコモeSIMカードのIC面を下にして、SIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。

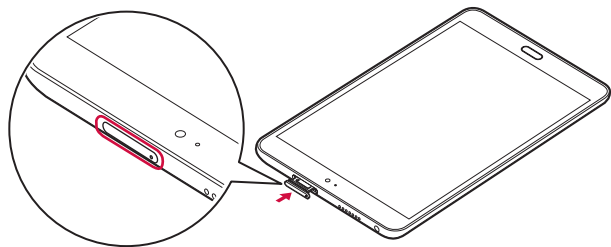


4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- SIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込むときに、ドコモeSIMカードが浮き上がったり、ずれたりしないようにご注意ください。



5 SIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込んで ○部分をしっかりと押し、本端末とSIMカード／ microSDカードトレイにすき間がないことを確認する

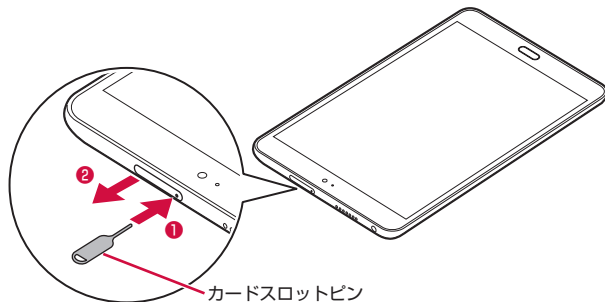


取り外しかた

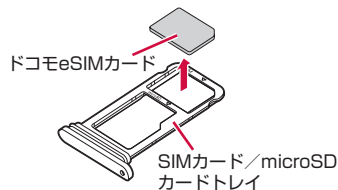
1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む (1)

SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す (2)

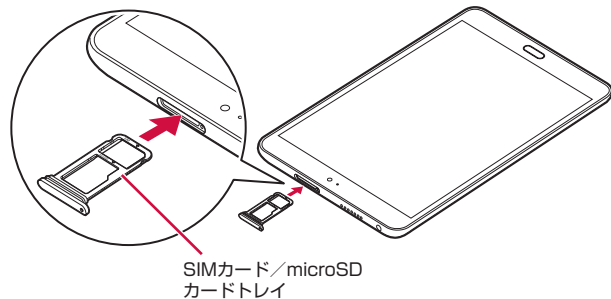


3 ドコモeSIMカードをSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



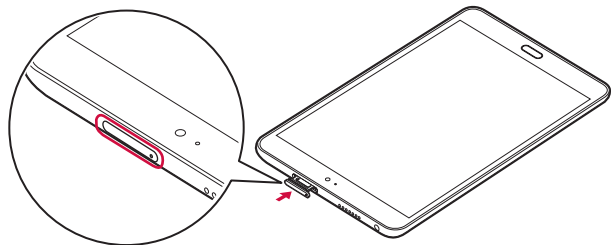
4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。



5 SIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込んで

- 部分をしっかりと押し、本端末とSIMカード／microSDカードトレイにすき間がないことを確認する



■ お知らせ

- ドコモeSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。また、ドコモeSIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとしたりすると、ドコモeSIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- カードスロットピンを紛失した場合には、ペーパークリップでも代用できます。



microSDカード

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードや32GBまでのmicroSDHCカード、256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2018年6月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

■ お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器でmicroSDXCカードを初期化する必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とmicroSDカードを利用してデータコピーを行う場合は、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示や再生ができないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示や再生ができないことがあります。

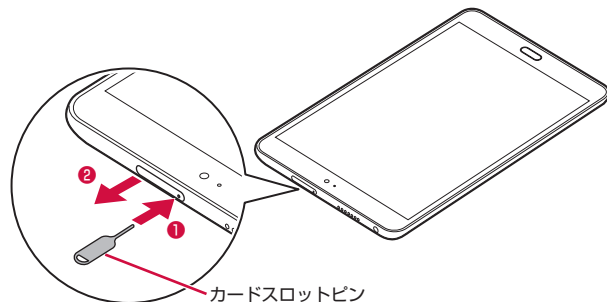
microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。

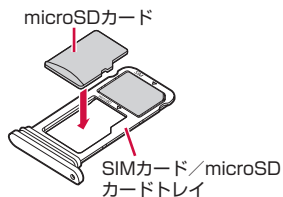
- SIMカード／microSDカードトレイの取り外しは、付属のカードスロットピン（試供品）をご使用ください。

取り付けかた

- 1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む ①**
SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。
- 2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す ②**

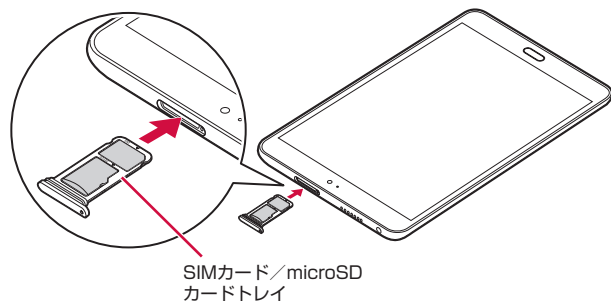


- 3** microSDカードの金属端子を下にして、SIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

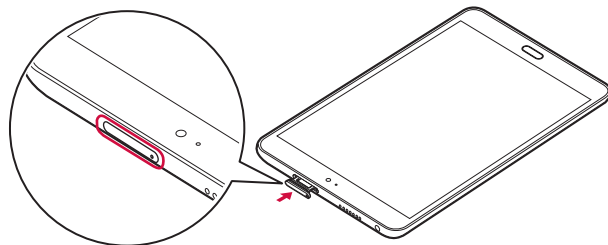


- 4** SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- SIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込むときに、ドコモeSIMカードが浮き上がったり、ずれたりしないようにご注意ください。



- 5** SIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込んで
○部分をしっかりと押し、本端末とSIMカード／
microSDカードトレイにすき間がないことを確認する

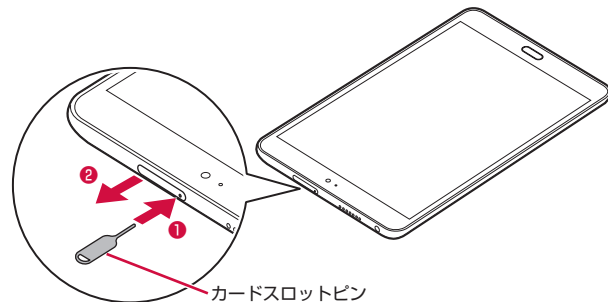


取り外しかた

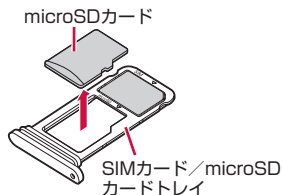
- 1 カードスロットピンをSIMカード／microSDカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む (1)

SIMカード／microSDカードトレイが押し出されます。

- 2 SIMカード／microSDカードトレイを引き出す (2)

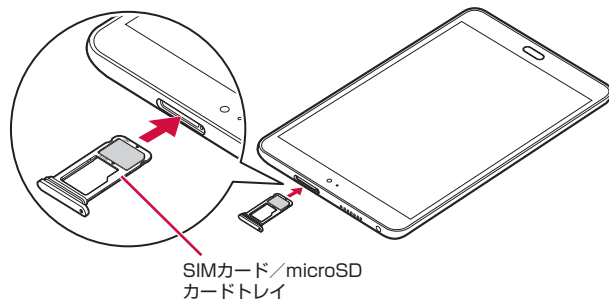


- 3 microSDカードをSIMカード／microSDカードトレイから取り外す

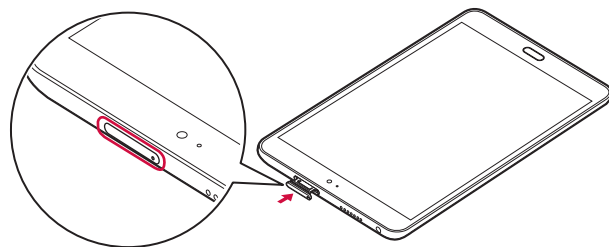


- 4 SIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。
- SIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込むときに、ドコモeSIMカードが浮き上がったり、ずれたりしないようにご注意ください。



- 5 SIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とSIMカード／microSDカードトレイにすき間がないことを確認する



■ お知らせ

- カードスロットピンを紛失した場合には、ペーパークリップでも代用できます。



ペーパークリップの例

充電

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池切れの状態での充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間や、十分に充電したときの使用可能時間については、「主な仕様」をご覧ください (P.156)。

充電について

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 07 (別売品)

- AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用 (国内仕様) です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用に変圧器を使用している場合は、行わないでください。

DCアダプタ 05 (別売品)

- 自動車の中で充電する場合に使用します。

■ お知らせ

- USBケーブル A to C 01 (別売品) でパソコンと接続しても充電はできませんが、本端末の使用状況によっては充電できない場合があります。パソコンと接続して充電する場合は、USBケーブル A to C 01 で本端末とパソコンを接続して「キャンセル」をタップした後、スリープモードにするか本端末の電源を切ってください。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

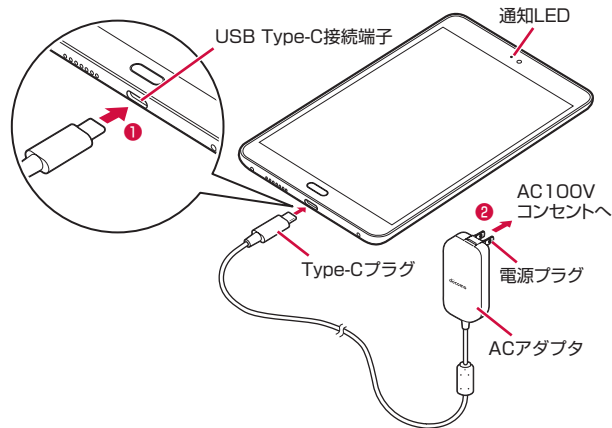
内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 07 (別売品) を使用して充電する方法を説明します。



- 1** 本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む (①)
- 2** ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む (②)
本端末の通知LEDが点灯します。
- 3** 充電が完了したら、コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く
- 4** 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05（別売品）は、自動車のアクセサリソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 01（別売品）が必要です。取り扱いについては詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to Cの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを3秒以上押す

はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.40）。

2 画面ロックを解除する

画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.31）をご参照ください。

■ お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 電源キーを押した後、本端末の反応がない場合は、充電が不十分な場合があります。充電完了後、再度操作を行ってください。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押す

2 （電源を切る）→（タップして電源をOFF）

電源キーを1秒以上押したときのメニュー

電源が入っているときに電源キーを1秒以上押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
再起動	本端末を再起動します。
電源を切る	P.30

スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりできます。

1 電源キーを押す

スリープモードを設定／解除できます。


■ お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかった場合でも、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードの状態になります (P.112)。

画面ロックを解除する

〈例：「画面のロック」(P.118) を「タッチ」に設定している場合〉

1 ロック画面で

- ロック画面のアイコンをタップしてカメラやmy daizを直接起動することもできます。
- 「画面のロック」で「タッチ」または「ロックなし」以外の解除方法に設定している場合は、をタップした後、設定した解除方法を入力します。
- 指紋IDを設定している場合は、指紋認証で画面ロックを解除できません (P.118)。

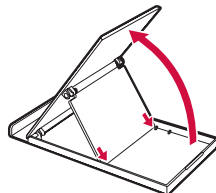
自立スタンド

自立スタンド（試供品）に本端末を立てて利用することができます。

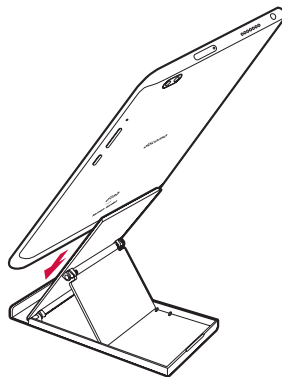
- 自立スタンドは平らな場所に設置してご利用ください。

1 自立スタンドの背を起こして、足をお好みの角度に開く

- 突起に合わせて自立スタンドの足を固定させてください。



2 本端末を自立スタンドのミズに差し込む



■ お知らせ

- 本端末を横向きにして自立スタンドをご使用の際は、電源キーや音量キーが押されないようにしてお使いください。
- 自立スタンドを開閉する場合は、指やUSBケーブル A to C 01（別売品）などを挟まないようご注意ください。
- 本端末を自立スタンドに立てた状態で操作する場合、強い力でタップなどの操作を行うと、自立スタンドおよび本端末が倒れるおそれがありますので、ご注意ください。

基本操作

タッチパネルの使いかた

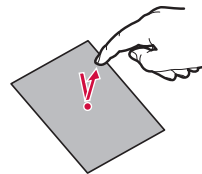
本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面にのせたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。



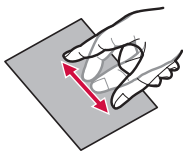
フリック

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。



ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像を拡大／縮小するときなどに使用します。



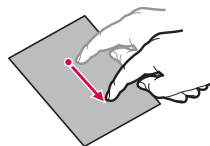
スライド (スワイプ)

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。



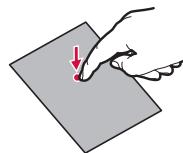
ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。



ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーなどに長く触れます。




■ お知らせ


- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

ジェスチャーの使いかた

本端末のインカメラに向かってジェスチャー動作をすることで、画面に触れずに画面のスクロールや音量調節、曲送りなどの操作ができます。

- ジェスチャーを利用する前に、ホーム画面で「ジェスチャー操作設定」をタップし、画面の指示に従って、アプリのダウンロードとインストールを行う必要があります。また、ジェスチャー操作設定画面で「ジェスチャー入力利用」の  をタップしてONにする必要があります。説明画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 「詳細設定」をタップすると、「選択したアプリでのみジェスチャー操作を利用」や、「バッテリー残量30%以下で自動OFF」機能を利用することができます。
- ジェスチャー操作の方法については、「ジェスチャーLESSON」もしくは「ジェスチャー操作一覧」をタップしてご確認ください。

■ お知らせ

- ジェスチャー操作はカメラを利用して行う機能のため、カメラを利用するアプリ利用中の場合はご利用できません。
- アプリによっては、正しく動作しない場合があります。
- ジェスチャー操作設定画面の「ジェスチャーLESSON」をタップすると、詳しい使いかたの確認や、ジェスチャー操作の練習ができます。
- ステータスバーに  が表示されている場合は、通知パネル (P.43) からジェスチャー操作のON/OFFを設定できます。


設定を切り替える

設定項目にラジオボタンなどが表示されているときは、タップすることで設定のON (有効) /OFF (無効) を切り替えることができます。

-  や  はON (有効)、 や  はOFF (無効) の状態です。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「画面」
- 「画面の自動回転」の  をタップしてONにする

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。
- 通知パネル (P.43) のショートカットからも設定できます。

スクリーンショットを利用する

表示している画面を画像として保存することができます。

- 電源キーと音量下キーを同時に1秒以上押す
 - 画像が保存され、プレビュー画面が表示されます。

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、スクリーンショットを利用できない場合があります。
- プレビュー画面の表示中は、画面下部の項目をタップして次の操作ができます。
 - 共有：Bluetooth通信やメールなどで共有します。
 - 編集：トリミングや手書きの文字の追加などの編集をします。
 - スクロールショット：下方向へスクロールできる画面の場合に、範囲を指定して縦長の画像を保存します (スクロールスクリーンショット)。
- スクリーンショットした画像は、操作を行った所有者、またはユーザー/ゲスト (P.125) のみ確認できます。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどをはじめて起動すると、アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

許可をすると本端末の機能や情報を利用できるようになります。


<例：「Word」アプリをはじめて起動した場合>

1 ホーム画面で「Microsoft」→「Word」

確認画面が表示されます。

2 「許可しない」／「許可」

■ お知らせ

- アプリや機能によっては、説明画面が表示される場合や確認画面が複数回表示される場合、表示が異なる場合があります。画面の指示に従って操作してください。
- 「許可しない」を選択すると、アプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」 → アプリを選択 → 「権限」をタップすると、権限の設定を変更できます。

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。また、音声による入力も利用できます。

入力方法には、次の3種類があります。

入力方法	説明
iWnn IME	日本語を入力する場合に選択します。お買い上げ時に設定されている入力方法です。
ドコモ文字編集	音声で文字を入力する場合に選択します。
Google音声入力	

■ お知らせ

- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。


デフォルトのキーボードを変更する

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「言語と文字入力」

言語と文字入力設定画面が表示されます。

2 「デフォルトのキーボード」 → 入力方法を選択

■ お知らせ

- 手順2で「デフォルトのキーボード」 → 「入力方法の設定」をタップすると、利用する入力方法の選択／解除ができます。
- 文字入力中に画面右下に表示される  をタップしても、入力方法を変更できません。

文字を入力する

iWnn IMEでは、次の3種類のキーボードタイプがあります。

キーボードタイプ	説明
テンキーボード	複数の文字が各キーに割り当てられています。キーをフリックして入力するフリック入力 (P.38) と、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返してタップするトルグル入力の2種類の方法で文字を入力できます。
QWERTYキーボード	パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。
50音キーボード	50音順／アルファベット順に並んだキーをタップして入力します。 50音キーボードには、「縦書き(右)」／「縦書き(左)」／「横書き」の3種類のレイアウトがあります。



テンキーボード



QWERTYキーボード



50音キーボード (縦書き(右)の場合)

- 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - ▼をタップすると、変換候補欄を広げられます。
- テンキーボードでかな／英字をトルグル入力した場合に、キーに割り当てられた文字を逆順に表示します。
- 変換範囲を1文字縮小します。
 - 未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。

- 4 ：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
 英数字
 カタカナ
：英数字・カタカナの変換候補を表示します。
：QWERTYキーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
：QWERTYキーボードで数字入力時に、入力できる記号を切り替えます。
- 5 入力モード（かな／英字／数字）を切り替えます。
- 6 ：入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
：テンキーボードで英字入力時に、入力中の文字の大文字／小文字を切り替えます。
：50音キーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
- 7 カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
- 8 変換範囲を1文字拡大します。
 ・未確定の文字がないときは、カーソルを右に移動します。
- 9 ：テンキーボードまたは50音キーボードでかな入力時に、変換を行います。
：スペースを入力します。
：QWERTYキーボードでかな入力時に、変換を行います。未確定の文字がないときはスペースを入力します。
- 10 ：改行します。入力中の文字がある場合は文字を確定します。
 ・アプリや入力中の項目によっては、「」（検索）や「」（次へ）、「」（完了）、「」（実行）などが表示されます。
- 11 iWnn IMEの設定画面を表示します。
- 12 長音（ー）を入力します。ロングタッチすると、記号一覧を表示します。


■ お知らせ

- 変換候補が表示されていないときは、キーボード上部のアイコンをタップして次の操作ができます。
 - ：アイコンの表示を切り替えます。
 - ：iWnn IMEの設定画面を表示します。設定画面の上部に表示されるアイコンをタップすると、表示するアイコンを入れ替えることができます。
 - ：キーボードタイプを切り替えます。
 - ：ユーザー辞書に単語を登録します。
 - ：キーボードイメージを変更します。
 - ：ドコモ文字編集を起動し、音声で文字を入力します。
 - ：上下にドラッグしてキーボードの表示範囲を変更します。キーボードをポップアップ表示中は、上下左右にドラッグしてキーボードを移動できます。
 - ：キーボードをポップアップ表示します。ポップアップ表示中にをタップしてスライダーを左右にドラッグすると、キーボードの透過度を調整できます。をタップすると通常のキーボードに戻ります。
 - ：任意の方向にドラッグして、キーボードのサイズを変更します。
- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。

キーボードタイプを変更する

- キーボード表示中に→「キーボードタイプ」
- 「テンキーボード」／「QWERTYキーボード」／「50音キーボード 縦書き（右）」／「50音キーボード 縦書き（左）」／「50音キーボード 横書き」

■ お知らせ

- 画面の向きや入力モードごとにキーボードタイプを設定することもできます。キーボード表示中に→iWnn IMEの設定画面を左にスライド（スワイプ）→「その他」→「表示」→「キーボードタイプ」をタップして設定します。

フリック入力を利用する

フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上/下/左/右にフリックして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にフリックします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

<例：「め」を入力する場合>

- 1 「ま」のキーをタップしたまま、「め」が表示されている方向（右）にフリック




文字の編集

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。



文字列選択画面

- 1 入力した文字列をロングタッチ
- 2 をドラッグして文字列の範囲を選択
- 3 項目をタップ

- ・アプリや操作状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
共有	選択した文字列を他のアプリで利用できます。
カット	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
⋮	隠れている項目を表示します。←をタップすると、元の表示に戻ります。

■ お知らせ

- コピー／切り取りした文字列がある場合は、以下の操作で貼り付けることができます。
 - 文字が入力されていない場合：文字入力欄をロングタッチ→「貼り付け」
 - 文字が入力されている場合：挿入したい位置をタップ→●→「貼り付け」

ユーザー辞書 (iWnn IME) を利用する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくことで便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄に登録した読みを入力し、変換します。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「システム」→「言語と文字入力」
- 2 「iWnn IME」
- 3 「辞書」→「日本語」／「英語・その他」
- 4 ∴→「登録」
 - **単語を編集する場合**
 - ① 編集する単語を選択→∴→「編集」
 - **単語を削除する場合**
 - ① 削除する単語を選択→∴→「削除」→「OK」
 - すべての単語を削除する場合は、∴→「すべて削除」→「OK」をタップします。
- 5 読み・単語を入力→「OK」

文字入力の設定を変更する

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「システム」→「言語と文字入力」
- 2 入力方法を選択
- 3 項目を設定

■ お知らせ

- インストールした入力方法などが表示されていない場合は、手順2で「仮想キーボード」→「仮想キーボードを追加」→利用する入力方法の●をタップしてONにしてください。

初期設定

はじめて電源を入れたときは画面の指示に従って、言語、Wi-Fi、Googleアカウント、ドコモサービスの初期設定などを行います。

- 設定の省略などによっては表示される項目や手順が異なる場合があります。

1 本端末で使用する言語を選択

- 言語を切り替える場合は、「日本語」／「English」をタップします。
- 「表示設定」をタップすると、「拡大操作」や「フォントサイズ」を設定できます。

2 「次へ」

- 以降は画面の指示に従って、以下の設定などを行ってください。
 - ネットワークへの接続
 - SIM情報設定 (P.107)
 - セットアップ方法の選択
 - Googleアカウント
 - Googleサービス
 - 端末を保護
 - Googleアシスタント
 - ホーム画面の選択

3 ドコモサービスの初期設定画面で「すべてのリンク先の内容に同意する」の をタップしてONにする→「次へ」

- 以降は画面の指示に従って、以下のドコモサービスの設定を行ってください。
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定
 - その他の設定項目

4 「はじめる」

■ お知らせ

- 操作によっては、表示される設定などが異なる場合があります。
- ホーム画面の使い方画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「次へ」→「次へ」→「OK」をタップします。
- ドコモサービスは、「ドコモのサービス／クラウド」(P.124) で変更することができます。

通知LED

新着メッセージ（SMS）などの通知があるときや、充電しているときなどに通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯	充電中（電池残量が9%以下）／使用中（電池残量が4%以下）
黄で点灯	充電中（電池残量が10～89%）
緑で点灯	充電中（電池残量が90%以上）
緑で点滅	新着メッセージ（SMS）などの通知あり • 画面が消灯しているときに点滅します。

画面表示 / アイコン

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、メールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコン、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

- ロック画面表示中は、ステータスバーに通知アイコンは表示されません。

通知アイコン

ステータスアイコン



主な通知アイコン

アイコン	状態	参照先
	新着Gmailあり	P.65
	新着メッセージ (SMS) あり	P.64
	新着エリアメールあり	P.67
	アラーム鳴動中 / スヌーズ設定中	P.88
	エラー発生 (同期不具合など)	-
	内部ストレージの空き容量低下	-
	Bluetooth通信でデータ受信通知あり	P.138
	データのアップロード	-



アイコン	状態	参照先
	データのダウンロード	-
	インストール完了	P.84
	アップデート通知あり	-
	ソフトウェア更新可能	P.154
	USBデザリングが有効 / USBストレージと接続中	P.105、 P.115
	Wi-FiデザリングとUSBデザリングが有効	P.104、 P.105
	オートGPS動作中	P.124
	位置提供設定ON	P.124
	docomo LIVE UXなどの通知あり	-
	あんしん遠隔サポート起動中	P.151
	電池残量20%以下	-
	SIM情報未設定 / SIM情報を無効に設定中	P.107

■ お知らせ

- 通知によっては、複数の異なる通知が1つの通知アイコンで表示される場合があります。通知内容は、通知パネルで通知を開くと確認できます。

主なステータスアイコン

アイコン	状態	参照先
	電波状態	—
	4G (LTE) 使用中 ^{*1 *2}	—
	3G使用中 ^{*1}	—
	圏外	—
	国際ローミング中	—
	機内モード設定中	P.100
	Wi-Fiネットワーク接続中 ^{*1}	P.100
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中	P.101
	Wi-Fiテザリングが有効	P.104
	Bluetooth起動中	P.137
	Bluetooth機器に接続中	P.138
	マナーモード (サイレント) 設定中	P.114
	マナーモード (バイブ) 設定中	P.114
	アラーム設定中	P.88
	VPN接続中	P.106
	データセーバー起動中	P.111

アイコン	状態	参照先
	GPS測位中	—
	通知の鳴動制限ON	P.115
	電池残量21～100% ^{*3}	—
	電池残量11～20% ^{*3}	—
	電池残量10%以下 ^{*3}	—
	充電中 ^{*3}	—

※1 データ通信中はが表示されます。

※2 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

※3 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。

ソフトキー

ディスプレイ下部に表示されるソフトキーは、本端末の共通操作を示します。



ソフトキー	機能
	直前の画面表示に戻ります。
	ホーム画面に戻ります。 • ロングタッチすると、Googleアシスタントを起動できます。
	最近使用したアプリの一覧を表示します (P.46)。

■ お知らせ

- 画面により表示されるソフトキーの背景色が異なります。本書では、ソフトキーで行う操作を、背景色が黒のソフトキーアイコンで説明しています。
- 指紋センサーに触れても、ホーム画面に戻ることができます。
- 「システムナビゲーション」(P.130)で指紋センサーを使用してソフトキーの操作ができるようにしたり、ソフトキーの形状を変更したりできます。お買い上げ時の「システムナビゲーション」は「仮想ナビゲーションバー」に設定されています。

通知パネル

通知パネルを表示すると、通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。また、ショートカットをタップして、機能のON/OFFの切り替えや設定ができます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



通知パネル

- 時刻、日付が表示されます。
- ショートカットの編集画面を表示して追加／並べ替え／削除ができます。
- 設定メニューを表示できます (P.99)。
- ショートカットの表示エリアを拡大／縮小します。

- 5 ショートカットをタップして、機能のON/OFF切り替えや設定ができます。ロングタッチすると、各機能の設定画面などを表示できます。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi機能のON/OFFを設定できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のON/OFFを設定できます。
モバイルデータ通信	モバイルデータ通信のON/OFFを設定できます。 • アイコン下には通信事業者名が表示されます。
サウンド	マナーモードを設定できます。
自動回転	本端末の向きに合わせて、縦/横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます。
機内モード	機内モードのON/OFFを設定できます。
位置情報	位置情報サービスのON/OFFを設定できます。
スクリーンショット	表示している画面を画像として保存することができます。
視力保護モード	視力保護モードのON/OFFを設定できます。ONにすると、目の疲れを軽減するように、画面から発せられる青い光を弱くします。

- 6 画面の明るさを調整します。
- 7 通知をタップして詳細を確認したり、対応するアプリを起動して操作したりできます。左右にフリックすると削除できます（一部に削除できない通知があります）。
- 8 通知を開いたり、閉じたりします（一部に表示されない、または操作できない通知があります）。通知を開くと、一部が隠れている通知を表示したり、通知の操作メニューを表示したりできます。
- 9 操作メニューからメールを返信するなど、通知に関連する操作ができます。
- 10 削除できる通知があるときに表示され、タップすると削除できる通知情報すべてを削除できます。

■ お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、通知パネルを上ドラッグします。
- ショートカットの編集画面で「リセット」をタップすると、ショートカットをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

ホーム画面「シンプル」

ホームアプリを「シンプル」に切り替えると、ホーム画面「シンプル」を利用できます。ホーム画面「シンプル」では、レイアウトがシンプルになり、アイコンや文字が大きく表示されます。

- 標準のホーム画面については、「docomo LIVE UX」(P.48) をご参照ください。

- ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「画面」 → 「ホーム画面切り替え」
- 「シンプル」



ホーム画面「シンプル」

① ウィジェット (例: 天気)

ウィジェットの起動や操作を行います。

② アプリ

アプリを起動します。「全てのアプリ」をタップすると、本端末のすべてのアプリを表示できます。

③ インジケータ

ホーム画面「シンプル」のページ枚数と現在位置を表示します。ホーム画面「シンプル」を左右フリックするとページを切り替えられます。

④ マチキャラ

my daizを起動します。

■ お知らせ

- 標準のホーム画面 (docomo LIVE UX) に切り替えるには、ホーム画面「シンプル」で「設定」→「ホーム画面切り替え」→「docomo LIVE UX」をタップします。

■ お知らせ




- ウィジェットのサイズによっては、使用するタイルの枚数が異なります。また、1枚以上のタイルを使用するウィジェットを追加すると、追加したウィジェットにはタイルが表示されなくなります。

アプリやウィジェットを並べ替える

ページ内のアプリやウィジェットを並べ替えることができます。別のページに移動することはできません。

- 1 ホーム画面「シンプル」でアプリ／ウィジェットをロングタッチ
- 2 移動する位置までドラッグ

アプリやウィジェットを削除する

- 1 ホーム画面「シンプル」でアプリ／ウィジェットをロングタッチ
- 2 
 - アプリ／ウィジェットが削除され、が表示されます。をタップすると、アプリやウィジェットを追加できます。

ホーム画面「シンプル」を編集する

アプリやウィジェットを追加したり、変更したりできます。また、ホーム画面「シンプル」のページを追加することもできます。

アプリやウィジェットを追加する

ホーム画面「シンプル」の各ページには12枚のタイル (白い枠) が用意され、各タイルにお好みのアプリやウィジェットを追加できます。

- 1 ホーム画面「シンプル」でアプリなどが追加されていないタイルをタップ
- 2 「アプリ」／「ウィジェット」
- 3 追加するアプリ／ウィジェットを選択


ホーム画面「シンプル」のページを追加する

ホーム画面「シンプル」のページは、最大18枚まで追加できます。


1 ホーム画面「シンプル」をロングタッチ

2 画面を左にフリックして右端のページを表示

3

- ページが追加されます。続けてページを追加する場合は画面を左にフリックして右端のページを表示し、をタップします。

■ お知らせ

- ページを削除する場合は、手順2で削除するページを表示し、画面上部のをタップします。ただし、アプリやウィジェットが追加されているページは削除できません。

ホーム画面「シンプル」の設定を利用する

ホーム画面「シンプル」で「設定」をタップすると、設定メニューが表示されます。ホーム画面「シンプル」の設定メニューには、よく利用される設定項目が配置されています。各項目の詳細については、「本体設定」(P.99)をご参照ください。

- 設定メニューの「その他の設定」をタップすると、標準の設定メニューを表示できます。




タスクマネージャー

最近使用したアプリの一覧を表示して、アプリの起動／切り替え／終了ができます。

1

- アプリの一覧がサムネイル表示されます。
- サムネイルをタップすると、アプリの起動／切り替えができます。ただし、アプリによっては、起動できない場合があります。

■ お知らせ

- サムネイルの右上に表示される「×」をタップするか、サムネイルを左右にフリックすると、一覧から削除できます。起動中のアプリのサムネイルを削除した場合は、アプリを終了できます。
- 画面下部に表示されるをタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。ただし、をタップしてロックをかけたサムネイルは削除されません。
- 「画面の固定」(P.120)をONに設定している場合は、最近起動したアプリのサムネイルにが表示され、タップすると画面をピン留めして使用できるアプリを固定できます。画面の固定を解除するには、画面の指示に従って操作してください。

画面分割モード

画面を縦／横に分割して、2つのアプリを同時に表示して操作することができます。

- 画面分割モードで表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。


1

- アプリの一覧がサムネイル表示されます。





2 サムネイルの をタップ

- 目印が表示されていないサムネイルは、画面分割モードで表示できません。

3 画面下部（横画面の場合は画面の右）から表示するアプリのサムネイルをタップ

- サムネイルに「アプリが画面分割モードをサポートしていません」と表示されている場合は、画面分割モードで表示できません。
- アプリがサムネイル表示されていない場合は、 をタップしてアプリを起動しても表示できます。

■ お知らせ

- 画面分割モードで  をタップしてサムネイルを選択するか、 をタップしてアプリを起動すると、後から表示したアプリを切り替えられます。ただし、アプリが画面分割モードをサポートしていない場合は、画面分割モードが終了してアプリが起動します。
- 仕切り線の中央部を上下（横画面の場合は左右）にドラッグすると、表示範囲を変更できます。
- 画面分割モードを終了するには、 をロングタッチするか、仕切り線の中央部を画面の上部／下部（横画面の場合は画面の左端／右端）までドラッグします。
- アプリの起動中に  をロングタッチしても、画面分割モードにできません。
- アプリによっては画面分割モードで正しく動作しない場合があります。その場合、画面分割モードを終了してご使用ください。


音声エージェント

本端末のマイクを使って、音声による天気やニュースの検索、アラームの設定などの操作が可能です。本端末では、my daizやOK Google（Googleアシスタント）などの音声エージェントが利用できます。

- 音声エージェントを利用するには、あらかじめ設定などが必要です。詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。
- 次のような条件では、認識しにくい場合があります。
 - 本端末との距離が離れているとき
 - 反響が大きい場所
 - ノイズが大きい場所
 - 風が当たる場所（扇風機、エアコンなど）
 - テレビ／ラジオなど音声を発する機器の近く
 - 音楽再生中
- 話しかたによっては認識しにくい場合があります。
- my daizでは、2m程度までのご利用が目安です。

ホームアプリの切り替えかた

本端末では、ホームアプリを「docomo LIVE UX」または「シンプル」に切り替えることができます。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「画面」 → 「ホーム画面切り替え」
- 「docomo LIVE UX」／「シンプル」

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリやウィジェットなどを起動したり、アプリ画面を表示させたりできます。



ホーム画面

- 1 **ウィジェット (例: Google検索)**
ウィジェットの起動や操作を行います。
- 2 **マチキャラ**
my daizを起動します。

- 3 **壁紙**
- 4 **アプリ**
アプリを起動します。アプリをロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
＝が表示された場合は、ロングタッチして任意の位置までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
- 5 **インジケータ**
ホーム画面のページ枚数と現在位置を表示します。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- 6 **アプリボタン**
アプリ画面が表示されます (P.51)。
- 7 **ドック**
ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- 8 **フォルダ**
複数のアプリをまとめて格納することができます。
- 9 **マイマガジンボタン**
マイマガジンを表示します (P.58)。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にウィジェットやフォルダなどを追加することができます。

ウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ
- 2 「ウィジェットを表示」→ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチし、ホーム画面表示領域までドラッグ

■お知らせ

- Google Playからウィジェットのあるアプリをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。
- ウィジェットによってはサイズ変更可能な場合があります。サイズ変更をするには、ホーム画面で、サイズ変更したいウィジェットをロングタッチ→「サイズを変更」→ウィジェットの周囲に表示された枠をドラッグしてサイズを変更→壁紙部分をタップします。

フォルダを追加する

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ
- 2 「フォルダを作成」
 - フォルダをタップ→フォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更できます。

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ
 - ホーム画面の左端または右端にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。
 - アプリの上にアプリをドラッグした場合、2つのアプリを格納したフォルダを作成することができます。
 - フォルダの上にアプリをドラッグした場合、アプリをフォルダの中に格納することができます。

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

- 1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ
 - フォルダに格納したすべてのアプリをアプリ画面に戻す場合は、アプリを格納したフォルダをロングタッチ→「ホーム画面から削除」をタップします。
- 2 「アプリ一覧に戻す」

ウィジェットなどをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で、削除したいウィジェットなどをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」
 - アプリを格納したフォルダをロングタッチ→「ホーム画面から削除」をタップすると、ホーム画面からフォルダが削除され、フォルダに格納されたすべてのアプリをアプリ画面に戻します。

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリをロングタッチ
- 2 「アンインストール」→「OK」
アンインストール完了のメッセージが表示されます。

■ お知らせ

- アプリによっては、アップデートのみがアンインストールされる場合があります。
- 手順2で「アプリ無効化」が表示された場合は、「アプリ無効化」→「無効にする」→「アプリを無効にする」をタップすると、無効化（P.109）することができます。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアプリ画面のデザインなどを一括設定できる機能です。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「きせかえを変更」
- 2 設定するテーマを選択→「設定」

■ お知らせ

- きせかえのコンテンツは、「サイトから探す」をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、削除したいテーマを選択して「削除」→「削除する」をタップします。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「壁紙を変更」

- 2 壁紙を選択→「OK」

- 「写真の一覧から選ぶ」をタップすると、写真の一覧から画像を選択できます。
- 「他の壁紙を選ぶ」をタップすると、「ライブ壁紙」／「ギャラリー」／「フォト」から選択できます。

■ 「ライブ壁紙」の場合

- ① 壁紙を選択→「適用」

■ 「ギャラリー」／「フォト」の場合

- ① 写真を選択
 - 「ギャラリー」の場合は、写真選択後にをタップします。
- ② 壁紙を設定する画面を選択→「OK」
 - 「位置を調整」→枠に合わせて画像をドラッグ→「OK」をタップすると、壁紙として使用する箇所を調整できます。

■ お知らせ

- ホーム画面で田→「壁紙」タブをタップしても壁紙を変更できます。

マチキャラの表示設定

マチキャラの表示／動作設定などを行います。

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「マチキャラ設定」

- 2 項目を設定

ホーム画面の追加

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 「+」
 - 最大ホーム画面数は7枚です。

ホーム画面の並べ替え

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ
- 3 移動したい位置までドラッグ

ホーム画面の削除

- 1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどが無い壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 削除したいホーム画面のサムネイルの✖をタップ

アプリ画面の見かた

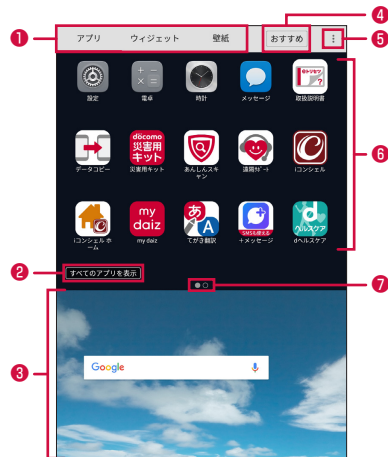
アプリ画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

1 ホーム画面で田

初回起動時は操作ガイドが表示されます。「以後表示しない」または「OK」をタップします。

ホーム画面を下にフリックしてもアプリ画面を表示できます。



アプリ画面

- ① アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ
- ② すべてのアプリを表示
アプリを検索できます (P.57)。
- ③ ホーム画面表示領域
 - 左右にフリックしてホーム画面を切り替えることができます。
 - 上にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。
- ④ 「おすすめ」ボタン
ドコモがおすすめするアプリをインストールできます (P.57)。
- ⑤ メニューアイコン
ヘルプやアプリ情報などのメニューを表示します。
- ⑥ アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧 (タブごとに表示)
 - アプリをロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
＝が表示された場合は、ロングタッチして任意の位置までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。また、アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを配置したりできます。
 - 左右にフリックするとページを切り替えられます。
- ⑦ インジケータ (タブごとに表示)
一覧画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

アプリ一覧

- お買い上げ時にプリインストールされているアプリは次のとおりです。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み (有料) が必要となるものがございます。
 - アプリの掲載順は、50音順・アルファベット順で掲載しています。
 - アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

アイコン	アプリ	概要	参照先
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、タブレットを安心してご利用いただくためのアプリです。	—
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.151
	おすすめアプリ*1	ドコモがおすすめするアプリが表示されます。	P.57
	音声レコーダー	音声を録音できます。	P.93
	カメラ*2	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.73
	カレンダー	予定やリマインダーなどを登録して管理できます。	—
	キッズモード	子供向けのモードです。使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。また、お子様の指紋を登録しておけば、ロック画面から直接キッズモードを起動することができます。	P.96
	ギャラリー*3	静止画や動画を閲覧・整理できます。	P.78

アイコン	アプリ	概要	参照先
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。	P.66
	ジェスチャー操作設定	ジェスチャー操作の設定を行います。	P.34
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。	P.91
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.99
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルなどの一覧を表示します。	-
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。	P.94
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。	-
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。	-
	てがき翻訳	指やスタイラスペンで画面に文字を書くだけで相手の言語に翻訳するアプリです。文字だけでなく、イラスト・写真も活用しながら言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。	-


アイコン	アプリ	概要	参照先
	天気	天気や気温などを確認できます。	-
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算を行います。	P.93
	時計	アラームなどを利用できます。	P.88
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。	P.59
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。	P.63
	ドライブ	Googleドライブを利用できます。	-
	取扱説明書	本端末の取扱説明書を表示できます。	-
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。	P.85
	ハングアウト	ハングアウトを利用してチャットができます。	-
	ファイル	本端末やmicroSDカード内のファイルをカテゴリやフォルダごとに確認することができます。	P.133


アイコン	アプリ	概要	参照先
	フォト	写真や動画の管理などを行います。	—
	マイマガジン/ ニュース ^{*1}	お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。	P.58
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.87
	マネレコ	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。	—
	メッセージ	SMSの送受信ができます。	P.63
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。	P.92
	ローソン	ローソンの公式アプリです。タブレットが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。	—
	Amazon	Amazonから商品を検索して買い物ができる公式アプリです。	—
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むためのKindle電子書籍リーダーアプリです。Amazonから電子書籍を購入することもできます。	—
	Chrome ^{*4}	ウェブブラウザアプリです。	P.68

アイコン	アプリ	概要	参照先
	dキッズ	お子様が興味や好奇心を持つ「学べる」「遊べる」「楽しめる」知育コンテンツが満載です。お子様の使い過ぎ防止など、安心して利用できる機能も搭載しています。	—
	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります（ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です）。	—
	dヘルスケア	歩数計測や体重管理などが行える健康アプリです。お悩みに応じた健康ミッションをクリアすると、dポイントやクーポンがもらえます。	—
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。	—
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。	P.83
	dメニュー ^{*5}	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。	P.83

アイコン	アプリ	概要	参照先
	Excel	Android向けのMicrosoft Excel アプリです。	—
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。	P.65
	Google	キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。	—
	i コンシェル	タブレットがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。	—
	i コンシェルホーム	タブレットを家の中に据え置いて利用するためのタブレット専用アプリです。天気・気象情報や鉄道運行情報、スケジュール、チラシ情報、地域行政情報、ドコモからのお知らせなどが常時表示され、音声による操作も可能です。ご家族との情報共有などにご利用いただけます。	—
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換えの他に、レシビ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。	—

アイコン	アプリ	概要	参照先
	My docomoアプリ	お客様のデータ使用量やご利用料金、ご契約内容などの情報をご確認いただけます。	—
	OneDrive	Android向けのMicrosoft OneDriveアプリです。	—
	Playストア	Google Playにアクセスして新しいアプリのダウンロード・購入ができます。	P.84
	Playムービー&TV	Google Playにアクセスして、鑑賞したい映画やテレビ番組を購入またはレンタルできる動画アプリです。	—
	Play Music	音楽データを再生します。	—
	PowerPoint	Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。	—
	QRコードリーダー	QRコードやバーコードを読み取ることができるアプリです。	—
	Quik	動画を編集するアプリです。	—
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。	—
	Word	Android向けのMicrosoft Word アプリです。	—
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。	P.85

アイコン	アプリ	概要	参照先
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプなどを送ることができます。	-


- ※1 ホーム画面「シンプル」のときに表示されます。
- ※2 ホーム画面「シンプル」では「カメラ・ビデオ」と表示されます。
- ※3 ホーム画面「シンプル」では「アルバム」と表示されます。
- ※4 ホーム画面「シンプル」では「インターネット」、アプリアイコンは「」と表示されます。
- ※5 ホーム画面「シンプル」では「dメニュー／検索」と表示されます。

■ お知らせ


- アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- プリインストールされているアプリには、一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.84) などから再度ダウンロードできる場合があります。

アプリの管理


アプリをホーム画面に移動する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → 移動したいアプリをロングタッチ
- 2 ホーム画面表示領域までドラッグ

アプリの移動

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → 移動したいアプリをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」 タブ → アンインストールしたいアプリをロングタッチ
- 2 「アンインストール」 → 「OK」
アンインストール完了のメッセージが表示されます。


■ お知らせ

- アプリによっては、アップデートのみがアンインストールされる場合があります。
- 手順2で「アプリ無効化」が表示された場合は、「アプリ無効化」 → 「無効にする」 → 「アプリを無効にする」をタップすると、無効化 (P.109) することができます。
- 手順2で「アンインストール」または「アプリ無効化」が表示されない場合は、アンインストールまたは無効化ができません。

おすすめアプリのインストール

ドコモがおすすめるアプリをインストールできます。

1 ホーム画面で → 「おすすめ」

- 初回起動時は利用の確認画面が表示され、「おすすめアプリを見る」をタップするとおすすめアプリの説明画面が表示されます。説明画面で  / 「おすすめアプリ一覧へ」をタップするとアプリの一覧が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

2 アプリを選択

ダウンロード画面が表示されますので、画面の指示に従って操作します。

■ お知らせ

- ホーム画面で  → 「おすすめ」 →  → 「通知設定」の  をタップすると、おすすめアプリの通知のON/OFFを切り替えることができます。

すべてのアプリを表示


アプリを検索する機能です。

1 ホーム画面で → 「すべてのアプリを表示」

すべてのアプリが一覧表示されます。

2 アプリを選択

アプリが起動します。


-  をタップすると、アプリのある画面がアプリアイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ホーム画面のバックアップ/復元を行うには、dアカウントの設定が必要です。

ホーム画面のバックアップ

- ホーム画面で、アプリやウィジェットなどがいない壁紙部分をロングタッチ → 「配置のバックアップと復元」
-  → 「バックアップ」

ホーム画面のバックアップデータを復元

- ホーム画面で、アプリやウィジェットなどがいない壁紙部分をロングタッチ → 「配置のバックアップと復元」
- 「最新のバックアップデータを復元」 / 「バックアップデータ一覧から復元」
 - 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択 → 「復元」をタップします。
- 「復元する」

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

記事の見かた


1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 表示するジャンルの選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択して「OK」をタップします。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。
- ホーム画面を上フリックしてもマイマガジンを表示できます。
- ホーム画面「シンプル」では「マイマガジン/ニュース」をタップするとマイマガジンを表示できます。



2 読みたい記事をタップ

■ お知らせ

- 記事一覧画面でをタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。



ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

- 1 ホーム画面で
ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 2 →「表示ジャンル設定」
- 3 ジャンルにチェックを付ける

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

- 1 ホーム画面で→
- 2 「アプリ情報」
 - docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

電話帳

電話帳アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなど連絡先に関するさまざまな情報を管理できます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

連絡先を登録する

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「連絡先」タブ

連絡先画面が表示されます。

- 2 「登録」

- 3 必要な項目を入力

- 「その他項目を追加」をタップすると、住所やメモなどの情報を追加できます。

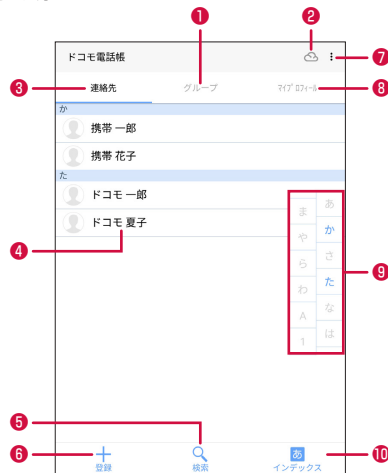
- 4 「登録完了」

連絡先を利用する

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「連絡先」タブ

連絡先画面が表示されます。

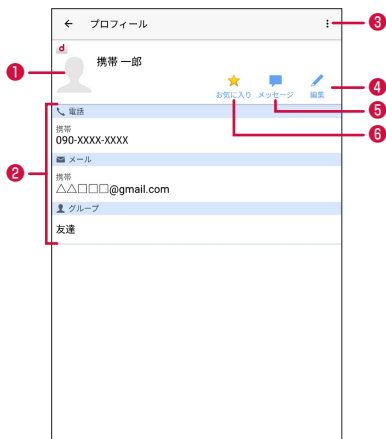
- 「インデックス」をタップして画面右に表示されたインデックスの文字をタップすると、そのインデックス文字に振り分けられている連絡先を表示します。



- 1 「グループ」タブ

- ② クラウド
クラウドへのログイン/ログアウトができます。
- ③ 「連絡先」タブ
- ④ 連絡先に登録された名前
- ⑤ 検索
- ⑥ 登録
- ⑦ メニュー
- ⑧ 「マイプロフィール」タブ
自分の電話番号を確認できます。
- ⑨ インデックス文字
- ⑩ インデックス文字の表示/非表示

2 表示する連絡先をタップ



連絡先詳細画面

- ① 連絡先の画像
連絡先に設定した画像が表示されます。
- ② 登録内容
選択した連絡先の登録内容が表示されます。
• メールアドレスをタップして、メールを作成できます。
- ③ メニュー
メニューを表示します (P.60)。
- ④ 編集
表示している連絡先の内容を編集します。
- ⑤ メッセージ
タップしてメッセージ (SMS) を作成できます。
- ⑥ お気に入り
タップしてお気に入りへの登録/解除ができます。

連絡先詳細画面のメニュー

連絡先詳細画面で：をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
共有	表示している連絡先を、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。
削除	表示している連絡先を削除します。
統合/分割	他の連絡先の内容を統合/分割します。

グループを利用する

連絡先をグループ分けして管理することができます。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」

2 「グループ」タブ

■ グループを追加／編集する場合

- ① 「グループ追加」→アカウントを選択
 - 登録済みのグループを編集する場合は、編集したいグループをロングタッチ→「グループ編集」をタップします。
- ② グループ名を入力→アイコン、色を選択（docomoのアカウントの場合のみ）
- ③ 「OK」

■ グループを削除する場合

- ① 削除したいグループをロングタッチ→「グループ削除」
- ② 「OK」

■ グループに連絡先を追加する場合

- ① 連絡先を追加したいグループをタップ→「メンバー追加」
- ② 連絡先にチェックを付ける
- ③ 「決定」
- ④ 「OK」

■ グループから連絡先を削除する場合

- ① 削除したい連絡先を含むグループをタップ→「メンバー削除」
- ② 連絡先にチェックを付ける
- ③ 「決定」
- ④ 「OK」

■ グループの表示を並べ替える場合

docomoのアカウントのグループのみ並べ替えができます。

- ① 「並べ替え」
- ② 並べ替えたいグループをタップして上下にドラッグ
- ③ 「決定」

マイプロフィールを登録する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「マイプロフィール」タブ

2 「編集」

3 必要な項目を入力

4 「登録完了」

ドコモ電話帳の画面のメニュー

ドコモ電話帳の各画面で **⋮** をタップすると、メニューが表示されます。項目は、選択しているタブによって異なります。

■「連絡先」タブ

項目	説明	
連絡先削除	複数の連絡先を選択して削除します。	
クラウドメニュー	クラウドメニューを表示します。	
SDカード/SIMカード/共有	P.62	
設定	ドコモ電話帳の海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する場合に設定します。
	dアカウント情報/Wi-Fi利用設定	dアカウントの設定などを行います。
	共有時文字コード設定	連絡先データをエクスポートする際の文字コードを設定します。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を設定します。
	表示するアカウント	連絡先画面に表示させる連絡先を設定します。
	my daiz メニュー*	電話帳をサポートする機能を設定します。
	サービス品質向上について	利用情報をドコモに送信するかどうかを設定します。 • クラウドの利用開始と連動してONになります。
ヘルプ	電話帳のヘルプを表示します。	
連絡先登録件数	連絡先の登録件数を表示します。	
アプリケーション情報	ドコモ電話帳のバージョン情報などを表示します。	

* my daizご利用中の場合のみ表示されます。

■「グループ」タブ

項目	説明
グループ削除	追加したグループを削除します。 • 「お気に入り」は削除できません。 • 削除するグループに含まれている連絡先は削除されません。

■「マイプロフィール」タブ

項目	説明
マイプロフィール一斉送信*	マイプロフィールを変更したとき、ドコモ電話帳に登録した連絡先のメールアドレスに変更内容を一斉送信します。
共有	マイプロフィールを、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。

※ クラウドへのログインが必要です。

連絡先をインポート/エクスポートする

連絡先をmicroSDカードやドコモeSIMカードからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。また、Bluetooth通信やメールなどを使って連絡先の全件データ送信ができます。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「連絡先」タブ

連絡先画面が表示されます。

2 **⋮** → 「SDカード/SIMカード/共有」

• 以降は画面の指示に従って操作してください。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で




- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。
- ユーザー／ゲストが使用中 (P.125) の場合、メッセージ (SMS) は利用できません。

メッセージ (SMS) を作成／送信する

- ホーム画面で→「アプリ」タブ→「メッセージ」
- 「新規メッセージ」
- 「宛先」欄に携帯電話番号を入力
 - 名前や電話番号を入力すると、部分一致する連絡先がリスト表示されます。
 - 電話帳から宛先を選択する場合**
 - →送信する連絡先をタップ
- 本文入力欄に本文を入力
- 

■ お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

受信したメッセージ（SMS）を確認する



1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「メッセージ」

画面左側にスレッド（メッセージ（SMS）を送受信した相手）一覧が表示され、画面右側に現在選択しているスレッドのメッセージ（SMS）一覧が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

- 受信メッセージ（SMS）は背景が灰色の吹き出し、送信メッセージ（SMS）は緑色の吹き出しで表示されます。

■ お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーに  が表示されます。
- 電話帳に登録されていない相手のメッセージ（SMS）一覧で  → 「新しい連絡先を作成」／「既存の連絡先に保存」をタップすると、メッセージ（SMS）の電話番号を電話帳に登録できます。

スレッド一覧のメニュー

スレッド一覧で「その他」をタップすると、次の項目が表示されます。

- 設定画面で「初期設定に戻す」→「戻す」をタップすると、設定を初期設定に戻します。

項目	説明	
削除	スレッドを削除します。	
お気に入り	お気に入りに登録したメッセージ（SMS）を表示します。	
全て既読にする*	未読のメッセージ（SMS）をすべて既読にします。	
設定	未読メッセージをピン留め	未読のメッセージ（SMS）が常にスレッド一覧の上部に表示されるように設定します。
	送信をキャンセル	送信メッセージ（SMS）を6秒以内にダブルタップして送信をキャンセルするかどうかを設定します。
	通知音とバイブ	メッセージ（SMS）を受信したときに鳴らす音を設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定したりします。
	詳細設定	署名の設定やSMSセンター番号の表示、ドコモeSIMカードにコピーしたメッセージ（SMS）の確認、WAPプッシュサービスの設定を行います。

* 未読のメッセージ（SMS）がある場合のみ選択できます。

メッセージ (SMS) 一覧のメニュー

送受信したメッセージ (SMS) をロングタッチすると、コピー／転送／削除などの項目が表示されます。「その他」をタップすると、メッセージ (SMS) が選択状態になり、次の項目が表示されます。

項目	説明	
削除	メッセージ (SMS) を削除します。	
転送	メッセージ (SMS) を転送します。	
お気に入り	メッセージ (SMS) をお気に入りに登録します。	
全て選択／全て選択解除	すべてのメッセージ (SMS) を選択／選択解除します。	
その他	コピー	メッセージ (SMS) の本文をコピーします。
	共有	メッセージ (SMS) をBluetooth通信やメールなどを使って共有します。
	編集*	メッセージを編集します。
	SIMカードにコピー	メッセージ (SMS) をドコモeSIMカードにコピーします。
	文字を選択	メッセージ (SMS) の本文から文字を選択します。
	ロック／ロック解除	誤って削除しないようにメッセージ (SMS) を保護／保護解除します。
	詳細を表示	詳細情報を表示します。

※ 送信に失敗したメッセージ (SMS) など未送信の場合のみ表示されます。

Gmail




Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailの詳細については、スレッド一覧画面で画面の左端を右にフリック → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 スレッド一覧画面で表示したいスレッドをタップ
選択したスレッドの内容が表示されます。

Gmailを作成／送信する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
- 3 「To」欄に宛先を入力
 - Cc/Bccを追加するには、▼をタップします。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 「メールを作成」欄に本文を入力
 - ファイルを添付するには、 → 「ファイルを添付」をタップします。
- 6 

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 スレッド一覧画面でスレッド一覧を下にフリック

本端末のGmailアプリとEメールアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 圏外/サービスエリア外時
- 内部ストレージの空き容量が少ないとき、3G接続においてテザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。


緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。


- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールを後で確認する



- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 → エリアメールをタップ

エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」
- 3 削除したいエリアメールにチェックを付ける → 「削除」 → 「OK」
 - すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 →  → 「設定」
- 3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定	受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用する

「Chrome」アプリを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブページを表示する


1 ホーム画面で

「Chrome」アプリが起動し、ウェブページが表示されます。



Chrome画面

1 タブ

をタップすると新しいタブを表示します。タブをタップすると表示するウェブページが切り替わります。タブを閉じるときは、「×」をタップします。

2 ウェブページのタイトル

3 ホームアイコン

ホームページに設定したウェブページを表示します。

4 戻る／進むアイコン

以前に表示したウェブページが記録されている場合に、タップして表示させることができます。

5 更新アイコン

ウェブページの表示を更新します。

6 アドレスバー

ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

7 メニューアイコン

メニューを表示します (P.69)。

8 ダウンロードアイコン

表示しているウェブページをダウンロードします。

↓が表示されているときは、タップすると音声でキーワードを入力して、ウェブページを検索します。

9 ブックマーク登録アイコン

表示しているウェブページをブックマークに登録します (P.70)。

■ お知らせ


- アドレスバーなどが表示されていない場合は、画面を下にスライド（スワイプ）してスクロールすると表示されます。

シークレットタブでウェブページを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページを閲覧できます。

1 Chrome画面で

2 「新しいシークレットタブ」

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、閉じるタブの「×」をタップします。


■ お知らせ

- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したウェブページは保存されます。


Chrome画面表示中の操作

Chrome画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
拡大／縮小	画面をピンチアウト／ピンチインします。
スクロール	スライド（スワイプ）／フリックします。
前の画面に戻る	 をタップします。
テキストのコピー、検索、共有	テキストをロングタッチするとスライダーが表示されます。スライダーを上下左右にドラッグしてテキスト範囲を選択すると、以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none">「コピー」をタップするとテキストがコピーされます。「共有」をタップすると、選択したテキストをメールなどで共有できます。「ウェブ検索」をタップすると、選択したテキストをウェブで検索できます。

Chrome画面のメニュー

Chrome画面で  をタップすると、次の項目が表示されます。

- 表示中のウェブページによって、表示される項目が異なる場合があります。

項目	説明
新しいタブ	新しいタブを開きます。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを開きます（P.68）。
ブックマーク	ブックマークされているページを表示します（P.70）。
最近使ったタブ	最近使ったタブを表示します。
履歴	アクセスしたページの履歴を表示します（P.71）。
ダウンロード	ダウンロードした画像やリンクを表示します。
共有...	表示しているページを、他の端末やアプリと共有します。
ページ内検索	ページ内に表示されている内容を検索します。
ホーム画面に追加	表示しているページをホーム画面に追加します。
PC版サイト	PC版のウェブページを開くように設定します。
設定	Chromeの設定をします（P.72）。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプを表示します。

ウェブページのリンクを操作する

1 Chrome画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

- リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
新しいタブで開く	新しいタブでウェブページを開きます。
シークレットタブで開く	新しいシークレットタブでウェブページを開きます。
リンクアドレスをコピー	リンクのURLをコピーします。
リンク テキストをコピー	リンクのテキストをコピーします。
リンクをダウンロード	リンクをダウンロードします。 <ul style="list-style-type: none">• ダウンロードしたリンクは、Chrome画面で⋮→「ダウンロード」をタップすると確認できます。
リンクを共有	リンクのURLを他の端末やアプリと共有します。

ブックマークと履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ホーム画面で

2 ブックマークに追加するウェブページを表示→☆

- 画面右下に表示される「編集」をタップすると、ブックマークの名前/URLを編集したり、保存先フォルダを変更したりできます。

ブックマークからウェブページを表示する


1 ホーム画面で

2 ⋮→「ブックマーク」

ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいブックマークをタップ


履歴を表示する

1 ホーム画面で

2  → 「履歴」

履歴の一覧が表示されます。


3 表示したいウェブページをタップ





- 個々の閲覧履歴を消去する場合は、消去したいページの  をタップします。
- 閲覧履歴データをすべて消去する場合は、「閲覧データを削除...」をタップした後、消去する期間を選択し、消去したい項目にチェックを付けて「データを消去」をタップします。

項目	説明
閲覧履歴	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
Cookieとサイトデータ	保存されたCookieやサイトのデータを消去します。
キャッシュされた画像とファイル	キャッシュデータを消去します。
保存したパスワード*	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。
自動入力フォームのデータ*	登録した自動入力データを消去します。
サイトの設定*	保存されたウェブページの設定を消去します。
メディアライセンス*	メディアライセンスを消去します。



※「詳細設定」タブのみで表示されます。

ブックマーク一覧画面のメニュー

一覧画面で表示されるブックマークの  をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
選択	画面に  (編集) /  (移動) /  (削除) /  (メニュー) が表示されます。ブックマークの編集/保存先フォルダの変更/削除や、メニューからブックマークを新しいタブ/シークレットタブで開くことができます。
編集	ブックマークの名前/URLを編集したり、保存先フォルダを変更したりできます。
移動	ブックマークの保存先フォルダを変更します。
削除	ブックマークを削除します。

Chromeを設定する

- 1 ホーム画面で
- 2  → 「設定」
- 3 項目を設定

	項目	説明
	CHROMEにログイン	Chromeにログインし、同期などについて設定します。
基本設定	検索エンジン	検索エンジンを設定します。
	自動入力とお支払い	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、「住所」や「カード」などに登録した内容を自動的に入力するかどうかを設定します。
	パスワードの保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
	通知	Chromeの通知方法を設定します。
	ホームページ	ホームページを設定します。
詳細設定	プライバシー	アクセスエラー時にアドバイスを表示するかどうかを設定したり、障害時にレポートを送信するかどうかを設定したりします。 また、「閲覧履歴データを消去する」をタップすると、閲覧履歴データを消去できます (P.71)。
	ユーザー補助機能	表示される文字のサイズや強制ズーム、簡易表示を設定します。
	サイトの設定	CookieやJavaScriptを有効化・無効化したり、ポップアップをブロックしたりします。

	項目	説明
詳細設定	言語	コンテンツが対応している場合に、設定した言語に自動的に切り替えることができます。
	データセーバー	データ使用量の節約を設定します。
	Chromeについて	Chromeのバージョン情報などを表示します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、画像が不鮮明になる場合があります。
- 本端末を日の当たるところや高温のところに放置すると、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとする、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末を動かすと、画像が乱れる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影中は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行うと、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間を置いてからご使用ください。

著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。



お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

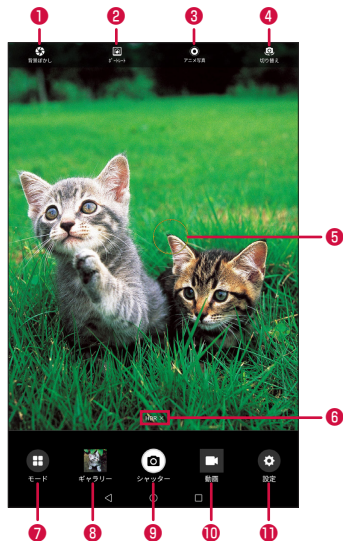
カメラを起動する

1 ホーム画面で

撮影画面が表示されます。

- 撮影画面で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、撮影画面が暗くなり「画面をタップしてカメラを起動」が表示されます。「画面をタップしてカメラを起動」が表示されている間は、画面をタップすると撮影画面が表示されます。
- カメラを終了するには撮影画面で  /  をタップします。




撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影中画面


- 1 背景ぼかし写真モードの切り替え
ボケ味のある写真を撮影できます。
 -  をタップして絞りレベルを設定できます。
- 2 ポートレートモードの切り替え
人物の肌を補正して撮影します。
 -  をタップして背景ぼかしを有効／無効に切り替えます。
 -  をタップしてビューティーレベルを設定できます。
- 3 アニメ写真の切り替え
写真撮影時に短い動画を撮影できます。

4 カメラ切り替え

アウトカメラ（背面）／インカメラ（前面）を切り替えます。

5 フォーカス枠

タップしたところにピントが合います。

- 「タップして撮影」をOFFにしている場合または背景ぼかしが有効の場合は、ピント調整後に表示される  を上下にドラッグして明るさ（EV補正）を調整できます。
- 静止画撮影画面の場合は、画面をロングタッチして、フォーカス枠と露出の計量点をそれぞれ好みの位置にドラッグして調整できます。

6 撮影モード表示

選択している撮影モードを表示します。

- 「×」をタップすると、写真モードに切り替わります。

7 モード

タップして撮影モードを変更できます（P. 77）。

8 前回撮影した静止画や動画のサムネイル

タップすると再生できます。

9 シャッターボタン

静止画を撮影します。

10 静止画／動画の切り替え

静止画／動画撮影を切り替えます。

11 設定

解像度などを変更できます（P. 76）。

12 動画の撮影時間

撮影時間を表示します。

13 動画撮影中の静止画撮影ボタン

動画撮影中に静止画を撮影できます。




14 動画撮影の開始／停止ボタン

動画の撮影が開始／停止されます。

15 動画撮影の一時停止／再開ボタン

動画撮影を一時停止／再開します。

■ お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンによっては、本端末の向きに合わせて回転します。
- 選択している撮影モードによっては、右上に  が表示され、タップすると各撮影モードの説明や注意事項が表示されます。
- 撮影モードによって、操作できる項目は異なります。
- 画面をピンチアウト／ピンチインしてズームを設定できます。
- インカメラ撮影時は、光量が少ない場合に自動で画面の輝度を高くする機能の  (オート) /  (OFF) を切り替えることができます。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示

2

シャッター音が鳴り、撮影されます。

- シャッターボタンをタッチしている間は、高速で連続して撮影（最大で20枚まで）されます。

■ お知らせ

- 写真モードとフィルタモードでのみ高速で連続撮影ができます（アウトカメラのみ）。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 静止画の撮影可能枚数は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示

2

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

3

撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。

■ お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

カメラの設定メニュー

撮影画面で画面を左にスライド（スワイプ）するか、「設定」をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 表示されるアイコンや項目および設定できる項目は、インカメラ/アウトカメラ、撮影モードによって異なります。
- 初期設定に戻すには「初期設定に戻す」→「OK」をタップしてください。

■ 静止画撮影時

項目	説明
解像度	静止画のサイズを設定します。
GPSタグ*1	撮影した静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
SDカード内に保存(優先)*2	静止画の保存先をmicroSDカードにするかどうかを設定します。
カメラグリッド	静止画撮影画面にグリッド線を表示するかどうかを設定します。
パーフェクトセルフィー	事前に設定することで、認識した顔に好みの補正を適用して撮影できます。インカメラ撮影時でポートレートモードが有効の場合に設定できます。
水準器	静止画撮影画面に水準器を表示するかどうかを設定します。
ミラー反射	インカメラ撮影時に正像/鏡像で撮影するかどうかを設定します。
タイマー	タイマーを設定します。
音声シャッター	音声でシャッターを切られるようにするかどうかを設定します。一定の音量で言葉を発することでシャッターを切ることができます。
タップして撮影	画面内でタップしたところにピントを合わせて撮影するかどうかを設定します。

項目	説明
スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると自動的に撮影するかどうかを設定します。
オブジェクトトラッキング	任意の被写体を追尾するかどうかを設定します。
シャッターボタンを長押し	シャッターボタンをロングタッチしたときの動作を設定します。 「連写」、「フォーカスの固定」の中から選択します。
音量ボタンの機能	音量キーを押したときの動作を設定します。 「シャッター」、「ズーム」、「フォーカス」の中から選択します。

※1 位置情報を付加するには、本端末の位置情報の検出を有効にする必要があります (P.86)。

※2 microSDカードが取り付けられている場合に表示されます。

■ 動画撮影時

項目	説明
解像度	動画のサイズを設定します。
GPSタグ*1	撮影した動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
SDカード内に保存(優先)*2	動画の保存先をmicroSDカードにするかどうかを設定します。
オブジェクトトラッキング	任意の被写体を追尾するかどうかを設定します。
音量ボタンの機能	音量キーを押したときの動作を設定します。 「シャッター」、「ズーム」、「フォーカス」の中から選択します。

※1 位置情報を付加するには、本端末の位置情報の検出を有効にする必要があります (P.86)。



※2 microSDカードが取り付けられている場合に表示されます。












■ お知らせ

- 動画の解像度を「MMS 176×144」に設定した場合は、最大録画時間は約7秒になります。

撮影モードを切り替える

撮影画面で画面を右にスライド(スワイプ)するか、「モード」をタップすると、次の撮影モードが表示されます。

- 設定できる項目は、インカメラ/アウトカメラによって異なります。
-  をタップすると、機能やアイコンの説明、撮影のしかたなどが表示されます。
-  をタップすると、撮影モードの並び順を変更したり、表示しないようにしたりできます。

項目	説明
写真	静止画を撮影します。
プロ写真	明るさ (EV補正) やフォーカス、ホワイトバランスなどを設定して静止画を撮影できます。  : 測光モード  : ISO感度*1  : シャッタースピード*1  : 露出補正*2  : フォーカスモード*2  : ホワイトバランス*2 ※1 「AUTO」に設定すると被写体に合わせて自動で調整できます。 ※2  /  (「AF-C」) /  を1秒以上押し続けると設定をロック/ロックを解除できます。 • 露出が高すぎると  、低すぎると  が撮影画面の右上に表示されます。
動画	動画を撮影します。

項目	説明
プロビデオ	<p>明るさ (EV補正) やフォーカス、ホワイトバランスなどを設定して動画を撮影できます。</p> <p>: 測光モード</p> <p>: 露出補正*</p> <p>: フォーカスモード*</p> <p>: ホワイトバランス*</p> <p>※ / (「AF-C」設定時のみ) / を1秒以上押しと設定をロック/ロックを解除できます。</p> <p>• 露出が高すぎると 、低すぎると が撮影画面の右上に表示されます。</p>
HDR	明暗部の鮮明さが向上します。
パノラマ	縦または横に長い写真を撮影できます。
ライトペインティング	<p>光の軌跡を捉える写真を撮影できます。</p> <p>• をタップして「テールライトトレイル」、「ライトグラフィティ」、「シルキーウォーター」、「スタートラック」を選択できます。</p>
タイムラプス	雲の動きなどのゆっくりと変化するシーンを撮影し、コマ送りの動画で再生できます。
フィルタ	<p>フィルタ効果を使って撮影します。</p> <p>• をタップしてフィルタを選択できます。</p> <p>• をタップしてフィルタレベルを設定できます。</p>
ウォーターマーク	日時や場所、マークなどを挿入できます。
その他	カメラの撮影モードを追加できます。

ギャラリー

本端末で撮影した静止画/動画、ダウンロードしたデータなどを再生します。また、静止画の編集や、静止画/動画の共有ができます。

- ギャラリーでは、microSDカードまたは内部ストレージに保存されているデータを再生します。
- 本端末で対応しているファイル形式/コーデックは次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

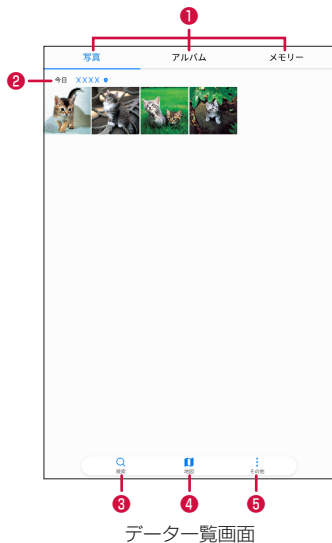
種類	ファイル形式/コーデック
静止画	GIF、JPEG、BMP、WBMP、PNG
動画	H.263、H.264、H.265、VP8、MPEG4、Sorenson Spark

ギャラリーを開く

1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「ギャラリー」

データ一覧画面／アルバム一覧画面／グループ一覧画面が表示されます。

- 画面によって、表示される項目は異なります。
- 「メモリー」タブをタップするとグループ一覧画面が表示されます。場所や人物などにより分類されたデータがグループごとに表示されます。



1 切替タブ

データ一覧画面／アルバム一覧画面／グループ一覧画面を切り替えます。

2 撮影日時／場所などが表示されます。

3 検索

日付や場所などでファイルを検索します。

4 地図


地図上に位置情報アルバムを表示します。

- アルバム一覧画面では「新規アルバム」が表示されます。タップすると、アルバムを追加できます。

5 その他

ギャラリーのメニューを表示します (P.80)。

■ お知らせ

- 撮影場所は住所の一部が表示されることがあります。場所の詳細については、再生画面のメニュー (P.81) でをタップすると確認できます。
- 内部ストレージに保存したデータは、保存操作を行った所有者／ユーザー／ゲスト (P.125) のみ表示・確認できます。ただし、「制限されたプロファイル」で追加したユーザーの場合、動画は再生できません。

ギャラリーのメニュー

■ データー一覧画面／アルバム一覧画面／グループ一覧画面

データー一覧画面／アルバム一覧画面／グループ一覧画面で「その他」をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 画面によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
スライドショー	スライドショーを表示します。
アルバムを非表示	アルバムを非表示にします。 • 「カメラ」「カメラビデオ」「スクリーンショット」「自分のお気に入り」アルバムは非表示にできません。
設定	表示する写真の方向や撮影日時・場所の情報表示の設定をします。

■ データー一覧画面

データをロングタッチすると選択状態になり、次のメニューが表示されます。

- データによって操作できる項目は異なります。

項目	説明
共有	Bluetooth通信やメールなどを使ってデータを共有します。
移動	データを他のアルバムに移動します。アルバム内のデーター一覧画面で表示されます。
削除	データを削除します。
復元	削除してから30日以内のデータを元のアルバムに復元できます。「最近削除したファイル」アルバムで表示されます。
全件選択／全件選択解除	すべてのデータを選択／選択解除します。
その他	詳細情報の表示やコピー、印刷などの操作ができます。

項目	説明
詳細情報	詳細情報を表示します。グループのデーター一覧画面で表示されます。

■ アルバム一覧画面

アルバム一覧画面でアルバムをロングタッチすると選択状態になり、次のメニューが表示されます。

- アルバムによって操作できる項目は異なります。

項目	説明
共有	Bluetooth通信やメールなどを使ってデータを共有します。
その他に追加	お買い上げ後に作成したアルバムを、「アルバム」から「その他」フォルダに移動します。
移動	「その他」フォルダから「アルバム」に移動します。
削除	アルバムを削除します。
全件選択／全件選択解除	すべてのデータを選択／選択解除します。
その他	名前を変更、詳細情報の表示などの操作ができます。

■ お知らせ

- データの種類によっては、共有に使用するアプリが一部表示されないことがあります。
- カメラで撮影した動画は「カメラ」、「カメラビデオ」のどちらのアルバムにも表示されます。一方のアルバムで削除などの操作を行うと、もう一方のアルバムにも反映されます。
- ユーザー／ゲスト(P.125)を切り替えると、所有者の設定は引き継がれません。

静止画／動画を再生する

<例：アルバム一覧画面から再生する場合>

1 アルバム一覧画面で再生するアルバムをタップ

👉をタップするとアルバム一覧画面に戻ります。



サムネイル画面

1 アルバム名

microSDカードを取り付けている場合は、▼をタップすると保存先の表示を切り替えられます（「カメラ」アルバムのみ）。

2 サムネイル

上／下にスライド（スワイプ）すると、画面をスクロールできます。

2 サムネイルをタップ

静止画が再生できます。

動画を再生するには👉をタップします。

再生画面のメニュー

■ 静止画再生の場合

表示されるアイコンや項目によって次のような操作ができます。

アイコン／項目	説明
🔍	背景ぼかし写真モードで撮影した写真のフォーカス位置や絞りレベルを変更したりフィルタ効果を追加したりできます。
🔄	アニメ写真を再生します。
📄	連写した写真の中から保存する写真を選択できます。
📄	ファイル名や撮影情報などを表示できます。
共有	Bluetooth通信やメールなどを使って共有できます。
お気に入り	「自分のお気に入り」アルバムに追加できます。
削除	削除します。
編集	静止画を編集します（P.82）。
その他	スライドショー、名前を変更などの操作ができます。

■ 動画再生の場合

アイコン	説明
▶ / ⏸	再生／一時停止します。
🔄	左右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■ お知らせ






- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
 - 左/右にフリック：前/後の静止画/動画を表示
 - ダブルタップ：拡大表示/縮小表示
 - ピンチイン/ピンチアウト：縮小表示/拡大表示

静止画を編集する

1 データ一覧画面/サムネイル画面で静止画をタップ

2 「編集」

3 各項目で画像を編集

- 画面右下に表示される  をタップすると、編集している画像の一時保存ができます。
- 画面右上に「比較」が表示されている場合は、「比較」をタップしている間、編集前の状態を確認できます。
- 画面上部に  /  が表示されている場合は、 /  をタップすると1つ前の編集状態に戻す/戻す操作を取り消すことができます。

項目	説明
回転	傾き調整、回転、反転を設定します。
トリミング	トリミングします。
フィルタ	フィルタ効果を追加します。
スプラッシュ	特定の色を強調させることができます。
イリュージョン	ぼかし加工をします。ぼかしたくない部分を選択することもできます。
調整	画面の明るさ、コントラスト、彩度などを調整します。

項目	説明
ビューティー	人物の顔を補正します。
モザイク	ぼかし加工（モザイク）をします。
グラフィティ	手書きの線を追加します。
ウォーターマーク	日時や場所、マークなどを挿入できます。
ラベル	ラベルを追加します。

4

画像が編集された状態で保存されます。

■ お知らせ

- 13Mピクセルを超える画素数の画像を編集した場合は、自動的に画像サイズを縮小して保存します。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

■ お知らせ

- dメニューのご利用には、ネットワークへの接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で「dマーケット」

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Google Playで公開されているアプリを本端末にインストールして利用することができます。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です (P.126)。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 アプリを検索し、内容を確認してインストールを行う

アプリをアンインストールする

- 1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→「マイアプリ&ゲーム」→「インストール済み」タブ
- 2 アンインストールしたいアプリをタップ→「アンインストール」→「OK」

■ お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによっては、自動的に通信を行うものがあります。通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行されるものがあります。
- 有料アプリの場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。詳しくはGoogle Play画面で画面の左端を右にフリック→「ヘルプとフィードバック」で、返金や払い戻しについてご確認ください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→「ヘルプとフィードバック」をご確認ください。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メールやウェブダウンロードで取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
 - 更新／トルカの共有／地図表示
- 本端末のバッテリーセーバー (P.110) やデータセーバー (P.111) の設定に関わらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生や投稿ができます。

動画を再生する

- 1** ホーム画面で「Google」→「YouTube」
YouTube画面が表示されます。
- 2** 動画を検索→再生する動画をタップ
動画再生画面が表示されます。

■ お知らせ

- 本端末で利用できる機能はパソコン版のYouTubeと異なる場合があります。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所



GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地

- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、位置情報へのアクセスを許可する必要があります。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」
- 「セキュリティとプライバシー」 → 「位置情報サービス」
- 「現在地にアクセス」の  をタップしてONにする
確認画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。
- 項目を設定

項目	説明
位置情報モード	位置を推測するのに使用するシステム/ネットワークを選択します。
最近の位置情報要求	最近位置情報を要求してきたアプリの一覧を表示します。 通知設定を変更したいアプリをタップすると、設定を変更することができます。
位置情報サービス	Googleロケーション履歴やGoogle現在地の共有機能の設定や確認などができます。 • Googleアカウントの設定が必要な場合があります。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。

- Googleマップを利用するには、ネットワークへの接続が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

マップ画面が表示されます。

- アイコンをタップすると、次の操作ができます。

アイコン	説明
☰	マップメニューを表示します。利用状況やエリアによって表示される項目は異なります。
🗣️	音声で地図上を検索します。
📍	地図上で現在地が表示されていないときに、現在地表示に切り替えます。 地図上で現在地が表示されているときに📍をタップすると、自分が向いている方向に合わせて表示が切り替わります。 📍をタップすると📍に戻り、現在地が表示されます。
📍 (経路)	目的地までの経路を表示します (P.87)。

■ お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
 - スライド (スワイプ) : 地図をスクロールして他のエリアを表示
 - ロングタッチ : 住所などの情報画面を表示
 - ピンチイン/ピンチアウト : 地図を縮小表示/拡大表示
 - ダブルタップ : 地図を拡大表示
 - 2本指で同時にタップ : 地図を縮小表示
 - 2本指で上方向にスライド (スワイプ) : 地図を傾けて3D表示
 - 2本指で回転させる : 地図を回転表示
- 地図をロングタッチすると情報画面が表示され、詳細情報の確認やスター付きの場所への登録などの操作ができます。

経路を調べる

出発地と目的地を設定して、経路を確認できます。

- 1 マップ画面で「経路」
- 2 交通手段 (🚗/🚝/🚶) をタップ
- 3 「現在地」に出発地を入力
 - 📍をタップすると、現在地と目的地を入れ替えられます。
- 4 「目的地を入力」に目的地を入力
経路が表示されます。

ナビゲーション機能を利用する

経路を調べた後、ナビゲーション機能を利用すると、目的地までナビゲートしてくれます。

- 1 経路の検索結果一覧から、任意の経路をタップ
- 2 「開始」

時計

アラームやタイマーなどを設定したり利用したりすることができます。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「時計」

時計画面が表示されます。

アラームを設定する

1 時計画面で「アラーム」タブ

アラーム設定画面が表示されます。

2 「追加」、または編集したいアラームをタップ

3 必要な項目を設定






項目	説明
時刻	アラーム時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム鳴動時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
ラベル	アラーム鳴動時に表示するメッセージを入力します。

4 ✓

アラームが追加または編集されます。


- 設定した時刻になるとアラームが鳴動します。

■ お知らせ

- アラーム設定画面で設定した各アラームの  をタップすると、アラームのON/OFFを切り替えます。
- 設定したアラームをロングタッチ→  →  をタップすると、アラームを削除できます。
- 本端末の電源を切るときに以下の操作を行うと、アラームの設定時刻に自動的に電源が入り、アラームを動作させることができます。
 - 電源キーを1秒以上押す→  (電源を切る) → 「アラームは有効 (XX後に鳴動)」のチェックを付ける→  (タップして電源をOFF)航空機などに搭乗する際は、あらかじめアラームの設定をOFFにするか、「アラームは有効 (XX後に鳴動)」のチェックを外した状態で電源を切ってください。

■ アラームが鳴ったときは

設定した時刻になるとアラームが鳴動し、アラーム画面が表示されます。

- アラームの音を止めてスヌーズをONにするには、次の操作をします。
 - アラーム画面で「タップしてスヌーズ」をタップする
 - 電源キーを押す
 - アラーム画面で  をタップする
 - アラーム画面で音量キーを押す(「音量ボタンの機能」(P.89)を「スヌーズ」に設定している場合)
 - アプリの利用中にアラームが鳴動した場合は、アラームの通知で「スヌーズ」をタップするか、アラームの通知をタップ→アラーム画面で「タップしてスヌーズ」をタップする
- アラームを解除してスヌーズもOFFするには、次の操作をします。
 - アラーム画面で「スライドしてアラームをオフにする」の円を左/右にスライド(スワイプ)
 - アラーム画面で音量キーを押す(「音量ボタンの機能」(P.89)を「閉じる」に設定している場合)
 - アプリの利用中にアラームが鳴動した場合は、アラームの通知で「閉じる」をタップするか、アラームの通知をタップ→アラーム画面で「スライドしてアラームをオフにする」の円を左/右にスライド(スワイプ)

- 「音量ボタンの機能」(P.89)を「サイレント」に設定している場合、アラーム画面で音量キーを押すと鳴動中のアラーム音をミュートにできます。
- 「鳴動時間」(P.89)で設定した時間が経過すると、アラーム鳴動を停止します。以降はアラームを解除するまで、10分ごとにスヌーズを繰り返します。
- スヌーズの動作になり次のアラームが鳴るまでに、ステータスバーを下にドラッグ→アラームの通知で「解除」をタップしてもスヌーズをOFFにして、アラームを解除できます。

アラームの詳細を設定する

- 1 アラーム設定画面で「設定」
- 2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中のアラーム	マナーモード設定中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
鳴動時間	何も操作しないと時のアラームの鳴動時間を設定します。
音量ボタンの機能	アラームが鳴動しているときに、アラーム画面で音量キーを押した場合の動作を設定します。



世界の時刻を設定する

世界の主要都市の時計を設定することができます。

都市を追加する

- 1 時計画面で「世界の時刻」タブ
世界の時刻画面が表示されます。
- 2 「追加」
- 3 都市を選択

追加した都市を削除する

- 1 世界の時刻画面で都市をロングタッチ
- 2 削除する都市の  → 

世界の時刻の基本設定をする

- 1 世界の時刻画面で「設定」
 - アラーム設定画面で「設定」をタップしても同様に操作できます。
- 2 必要な項目を設定





項目	説明
日付と時刻	システム日時を設定します (P.131)。
時計スタイル	世界の時刻画面に表示する時計のスタイルを設定します。

都市の表示順を変更する

- 1 世界の時刻画面で2つ以上の都市を追加しているときに都市をロングタッチ
- 2 =をドラッグして表示順を変更→✓





ストップウォッチを利用する

ストップウォッチを利用することができます。


- 1 時計画面で「ストップウォッチ」タブ
- 2 をタップすると、ラップタイムを計測できます。
- 3 計測を再開するには、時間をリセットするにはをタップします。

タイマーを利用する

タイマーを利用することができます。

- 1 時計画面で「タイマー」タブ
- 2 時間を設定
- 3 一時停止するには、続行するには、リセットするにはをタップします。


■ お知らせ

- 手順2で → 「タイマー音」をタップすると、タイマー音を設定することができます。
- タイマーの音量はアラームの音量と連動します。

■ タイマー音が鳴ったときは


設定した時間が経過するとタイマー音が鳴動し、タイマー画面が表示されます。

タイマー音の鳴動を止めるには次の操作をしてください。


- タイマー画面で「スライドしてタイマーをOFF」の円を左/右にスライド(スワイプ)
- をタップ

スケジュール

スケジュールを表示する



- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「スケジュール」
- 2  → 「月」 / 「週」 / 「日」のいずれかをタップ
 - カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の月や週、日を表示します。

スケジュールの設定メニュー


スケジュール画面で  → 「設定」をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
アラーム	アラームを設定します。
起動画面	スケジュールを起動したときの表示を設定します。
開始曜日	カレンダーの開始曜日を設定します。
誕生日データ更新	電話帳に登録された連絡先の誕生日を更新します。
クラウド設定	クラウドの利用について設定します。
海外利用設定	海外での通信を制限するかどうかを設定します。

■ お知らせ

- 手順2で  → 「スケジュール一覧」をタップすると、登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
- 手順2で  → 「メモ一覧」をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。


スケジュールの予定を作成する

- 1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「スケジュール」
- 2  → 項目を設定

項目	説明
アカウント	保存するアカウントを選択します。
ラベル	表示するマークや色を選択します。
タイトル	タイトルを入力します。
本文	本文を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
場所	予定の場所を設定します。
入力オプションを表示	アラームの設定や画像の添付などができます。

3 「保存」

■ お知らせ

- スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時刻になるとステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ→「お知らせ時間になりました」をタップすると、予定の詳細を表示できます。

スケジュールの詳細を表示する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「スケジュール」→ 予定のある日付／時間を表示

- 表示が月または週の場合は、予定のある日付をタップします。

2 詳細を表示する予定をタップ


■ 予定を編集する場合

- 「編集」→項目を設定
- 「保存」

■ 予定を削除する場合

- 「削除」
- 「削除する」

■ お知らせ

- すべての予定を削除するには、ホーム画面で「ドコモクラウド」→「スケジュール」→→「全件削除」→「削除する」をタップします。
-

メモ

テキストを入力して、メモとして保存できます。

メモを作成する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「メモ」

2 →テキストを入力

「入力オプションを表示」をタップすると、アラームなどの設定ができます。

3 「保存」

メモを削除する

1 メモ一覧画面で削除するメモをロングタッチ

2 「1件削除」→「削除する」

メモを編集する





1 メモ一覧画面で編集するメモをロングタッチ

2 「編集」→メモを編集→「保存」


音声レコーダー

音声を録音することができます。

音声を録音する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「音声レコーダー」
- 2 
 - 一時停止する場合は、 をタップします。録音を再開するには、 をタップします。
- 3 「停止」 → 録音ファイル名を入力 → 「保存」
 - 録音をキャンセルする場合は、「停止」をタップした後に「削除」をタップします。

録音された音声を聞く

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「音声レコーダー」
- 2 「録音ファイル」
録音ファイル一覧画面が表示されます。
- 3 聞きたい音声をタップ
音声再生されます。

録音ファイル名を変更する


- 1 録音ファイル一覧画面で、名前を変更したいファイルをロングタッチ → 「名前変更」
- 2 ファイル名を変更 → 「OK」

録音された音声を削除する


- 1 録音ファイル一覧画面で、削除したいファイルをロングタッチ
- 2 削除したい音声を選択 → 「削除」 → 「削除」

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）や関数計算などができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「電卓」
電卓画面が表示されます。
横画面では関数電卓の表示になります。
- 2 キーをタップして計算

■ お知らせ

- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字の貼り付け／コピーができます。電卓の表示欄や他のアプリに貼り付けて利用できます。
-  をタップすると、入力した数値や演算子、計算結果が削除されます。
- メモリを使った計算を行う際には、「m+」、「m-」でメモリ登録した後、いったん「C」でクリアをしてから、次の数字を入力してください。
- 関数を使った計算では、メモリ機能が利用できない場合があります。


ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ/復元をしたりするためのアプリです。機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「データコピー」 → 「データ移行」
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
 - ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
 - 対応機種や詳しい使いかたは、ドコモのホームページをご覧ください。


microSDカードへのバックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「データコピー」 → 「バックアップ&復元」
- 「バックアップ」 → バックアップするデータにチェックを付ける → 「バックアップ開始」 → 「開始する」
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 「トップに戻る」

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「データコピー」 → 「バックアップ&復元」
- 2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」
- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 「トップに戻る」

電話帳をドコモのアカウントにコピーする

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「データコピー」 → 「バックアップ&復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」 → コピーする電話帳の「選択」 → 「上書き」 / 「追加」
 - コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 「OK」

データ保管BOXへのバックアップ・復元

データ保管BOXを利用して、音楽のデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「データコピー」 → → 「データ保管BOXへバックアップ・復元」
- 2 「バックアップ」 / 「復元」
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されません。

■ お知らせ

- 画面ロック中やバッテリーセーバー（P.110）の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。
- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信用料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

キッズモード

お子様専用のホーム画面を表示します。使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。

また、お子様の指紋を登録することで、ロック画面からお子様の指紋でキッズモードを起動できます。

- キッズモードでは、常に横画面表示になります。

1 ホーム画面で「キッズ」→「キッズモード」

- 初回起動時は、画面の指示に従ってパスワードの設定などを行ってください。キッズモードを使うには、パスワードの設定が必要です。



1 ろくおん

音声を録音できます。

2 カメラ

写真の撮影ができます。

3 マルチメディア

以下のフォルダが表示されます。

アルバム：写真を表示できます。

きょうゆう：お子様に共有した写真やビデオを表示／再生できます。

ろくおん：録音した音声を再生できます。

おえかき：お絵かきした絵を表示できます。

4 キッズペイント

お絵かきができます。かいた絵は  をタップすると保存され、マルチメディアの「おえかき」フォルダで表示できます。

5 利用可能な残り時間が表示されます。

6 おわる


キッズモードを終了します。

7 音楽のON/OFFを切り替えます。

8 ベアレンタルコントロール

使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。

■ お知らせ

- 暗すぎる／明るすぎる場所での使用や、寝転がった状態での使用はできません。
- ロック画面は、キッズモードに対応していません。そのため、キッズモード利用中でも、ロック画面の  からカメラの起動ができたり、通知パネルのショートカットから各種設定変更の操作ができますので、お子様が本端末をご利用の際はご注意ください。
- キッズモードで保存されたデータを削除する場合は、キッズモード終了後、「ファイル」アプリ (P.133) を使用して以下の操作を行い、目的のデータを表示して、削除してください。
- 「本体」タブ→「内部ストレージ」→「KidsMode」→「Audio」(「ろくおん」のデータ) / 「Camera」(「カメラ」のデータ / 「Paint」(「キッズペイント」のデータ)

キッズモードを終了する

1 キッズモードのホーム画面で「おわる」

2 キッズモード専用のパスワードを入力する

- 「指紋ID」(P.117) で登録した保護者の指紋を使用することもできます。また、「システムロック解除パスワードを使用」をONにすると、システムロック解除パスワード (パターン、PIN、パスワード) を使用することもできます。

キッズモードを設定する

1 キッズモードのホーム画面で「ペアレンタルコントロール」

2 キッズモード専用のパスワードを入力する

- 「指紋ID」(P.117) で登録した保護者の指紋を使用することもできます。また、「システムロック解除パスワードを使用」をONにすると、システムロック解除パスワード (パターン、PIN、パスワード) を使用することもできます。

3 項目を設定

項目	説明
お子様のプロフィール	お子様のプロフィールを編集します。
アプリ管理	お子様に使用許可するアプリを選択します。 <ul style="list-style-type: none">許可したアプリはキッズモードのホーム画面に表示されます。「アプリ管理」タブには、キッズモードに登録できるアプリのみ表示されます (登録できても、正しく動作しない場合があります)。アプリのダウンロードやアップデートはキッズモードではできません。キッズモード外 (docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など) で行ってください。ブラウザから地図アプリを起動するなど他のアプリに連携する機能は、連携するアプリも合わせて許可する必要があります。「アプリ管理」タブに表示されないアプリが連携している場合は、連携アプリの起動はできません。「dキッズ」を使用する場合は、あらかじめキッズモード外 (docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など) で会員登録やdキッズアプリ内のコンテンツダウンロードなどを行ってください。使用許可するアプリを追加すると、意図しない課金や通信料がかかる可能性がありますので、ご注意ください。「アプリ使用時間」タブでは、アプリの利用状況などが表示されます。

項目	説明												
お子様に共有	<p>お子様が閲覧できるアルバムまたは写真／ビデオを選択します。</p> <p>「追加」または「選択」をタップ後、以下の操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アルバムごとに追加する場合：アルバム名横の○→画面右上の■をタップします • 写真ごとに追加する場合：アルバム名→追加する写真の○→◀→画面右上の■をタップします • 選択を解除する場合は、同様の操作でチェックマークをOFFにしてください。 												
利用時間の設定	キッズモードを利用可能な時間帯を設定します。												
設定	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>ブルーライトカット</td> <td>目の疲れを軽減するために画面から発せられる青い光を弱くするように設定します。</td> </tr> <tr> <td>直接キッズモードを起動</td> <td>ロック画面でお子様の指紋を認証すると、直接キッズモードを起動するように設定します。</td> </tr> <tr> <td>お子様の新しい指紋を追加／お子様の指紋</td> <td>お子様の新しい指紋を登録します。指紋登録後は、指紋の名前の変更や削除ができます。</td> </tr> <tr> <td>システムロック解除パスワード*を使用</td> <td>システムロック解除パスワード（パターン、PIN、パスワード）を優先して使用できるように設定します。</td> </tr> <tr> <td>パスワード変更</td> <td>キッズモード専用のパスワードを変更します。</td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi</td> <td> <p>Wi-Fi機能のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。 </td> </tr> </tbody> </table>	ブルーライトカット	目の疲れを軽減するために画面から発せられる青い光を弱くするように設定します。	直接キッズモードを起動	ロック画面でお子様の指紋を認証すると、直接キッズモードを起動するように設定します。	お子様の新しい指紋を追加／お子様の指紋	お子様の新しい指紋を登録します。指紋登録後は、指紋の名前の変更や削除ができます。	システムロック解除パスワード*を使用	システムロック解除パスワード（パターン、PIN、パスワード）を優先して使用できるように設定します。	パスワード変更	キッズモード専用のパスワードを変更します。	Wi-Fi	<p>Wi-Fi機能のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。
ブルーライトカット	目の疲れを軽減するために画面から発せられる青い光を弱くするように設定します。												
直接キッズモードを起動	ロック画面でお子様の指紋を認証すると、直接キッズモードを起動するように設定します。												
お子様の新しい指紋を追加／お子様の指紋	お子様の新しい指紋を登録します。指紋登録後は、指紋の名前の変更や削除ができます。												
システムロック解除パスワード*を使用	システムロック解除パスワード（パターン、PIN、パスワード）を優先して使用できるように設定します。												
パスワード変更	キッズモード専用のパスワードを変更します。												
Wi-Fi	<p>Wi-Fi機能のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。 												

項目	説明		
設定	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>モバイルデータ</td> <td> <p>モバイルデータ通信のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。 </td> </tr> </tbody> </table>	モバイルデータ	<p>モバイルデータ通信のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。
モバイルデータ	<p>モバイルデータ通信のON/OFFを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キッズモード外（docomo LIVE UX、ホーム画面「シンプル」など）の設定と連動しています。キッズモード外でONにしてしまうと、キッズモードでもONになりますのでご注意ください。 		

※ 画面ロックの解除方法で設定した「パターン」「PIN」「パスワード」を指します（P.118）。

本体設定

設定メニューについて


本端末は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。


1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」

項目	説明
無線とネットワーク	P.100
デバイス接続	P.108
アプリと通知	P.109
電池	P.110
データ使用量	P.111
画面	P.112
音	P.113
ストレージ	P.115
セキュリティとプライバシー	P.116
ドコモのサービス／クラウド	P.124
アカウント	P.125
スマートアシスト	P.127
Google	P.129
システム	P.129

■ お知らせ

- 通知パネル (P.43) で  をタップしても設定メニューを表示できます。
- 本端末の状態により、「無線とネットワーク」の上におすすめの設定が候補として表示される場合があります。




無線とネットワーク

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」

項目	説明
機内モード	P.100
Wi-Fi	P.100
モバイルネットワーク	P.103
テザリング	P.104
SIM情報設定	P.107
VPN	P.106

機内モードを設定する

インターネット接続、メールの送受信など電波を発する機能をすべて無効にします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」
- 2 「機内モード」の  をタップしてONにする
ステータスバーに  が表示されます。

■ お知らせ

- 通知パネル (P.43) で「機内モード」をタップしても、機内モードを設定できません。
- 機内モードがONの場合でもWi-Fi機能やBluetooth機能をONにできます。電波の使用を禁止された区域では、これらの機能を使用しないでください。

Wi-Fiを利用する

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。




■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。




- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

アクセスポイントに自動で接続する

利用可能なアクセスポイントを検索して接続することができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「Wi-Fi」
Wi-Fi画面が表示されます。
- 2 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする
利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。
- 3 接続するアクセスポイントをタップ
 - 「暗号化済み」と表示されたアクセスポイントはセキュリティで保護されています。接続するにはパスワードを入力し、「接続」をタップします。
 をタップすると、入力したパスワードを表示できます。
 - WPSに対応しているアクセスポイントは簡単な操作で登録ができます。
手順3で「その他」 → 「詳細なWi-Fi設定」 → 「WPS接続」 / 「WPS PIN接続」をタップしてアクセスポイントを登録してください。



■ お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fi接続が優先されます。Wi-Fi接続が切断されると、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 手順2で「Wi-Fi+」→「Wi-Fi+」の  をタップしてONにすると、本端末にWi-Fi機能を自動制御させることができます。また、Wi-Fiネットワークの接続状態を自動的に評価し、アクセスポイント一覧の接続中のアクセスポイントに評価結果（「強い」「普通」「弱い」）を表示します。
- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi画面で「スキャン」をタップします。
- SIMカードロック設定を行っている場合、本端末を再起動した際にdocomo Wi-Fiの「0001 docomo」が自動接続されない場合があります。手動で設定を行ってください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で  →「アプリ」タブ→「設定」→「ドコモのサービス/クラウド」→「dアカウント設定」から設定することができます。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、ステータスバーに  が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- ゲストが使用中（P.125）の場合、通知パネル（P.43）から保存済みのWi-Fiネットワークに接続ができます。複数のネットワークが存在する場合は、電波強度の強い順に自動的に接続されます。同じ電波強度のネットワークがある場合は5GHzのものが優先されます。



アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。


- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

- ホーム画面で  →「アプリ」タブ→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi」
- 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする
- 「ネットワークの追加...」
- ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力
 - セキュリティ方法は「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」から選択できます。
- 「接続」

静的IPアドレスを使用する


- ホーム画面で  →「アプリ」タブ→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi」
- 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする
- 接続するアクセスポイントをタップ
- 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける
- 「IP設定」→「静的」→項目をタップして入力→「接続」

Wi-Fi接続を切断する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「Wi-Fi」
- 2 切断するアクセスポイントをタップ → 「切断」
 - アクセスポイントの設定を削除する場合は「削除」をタップします。

Wi-Fi Directで他の機器と接続する

アクセスポイントを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうして直接Wi-Fi接続ができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする
- 3 「Wi-Fi Direct」
Wi-Fi Directの設定画面が表示され、Wi-Fi Direct対応機器の検出が開始されます。
- 4 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ
 - 接続を切断するには、接続している機器をタップ → 「OK」をタップします。



■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

他の機器から接続への招待画面が表示された場合は、「接続」をタップしてください。

■ お知らせ

- 本端末のWi-Fi Direct機能は、Huawei製品以外の機器との接続は保証いたしません。

Wi-Fiの設定をする

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」の  をタップしてONにする
- 3 「設定」

項目	説明
保存済みネットワーク	保存済みのWi-Fiネットワークを確認します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	画面が消灯したとき、Wi-Fi接続を維持しないように設定できます。また、Wi-Fi接続を常に維持するか、充電時のみ維持するように設定することもできます。 <ul style="list-style-type: none">• お買い上げ時は「維持する」に設定されています。「充電時のみ」または「維持しない（データ通信量が増加）」に設定すると、充電していない状態で画面の消灯から約32分経過すると、Wi-Fi接続が切断されます。
MACアドレス	本端末のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本端末のIPアドレスを表示します。

モバイルネットワークを設定する

モバイルネットワークの各種設定を行います。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」

項目	説明
モバイルデータ通信	モバイルデータ通信のON/OFFを設定します。
データローミング	P.143
アクセスポイント名	P.103
優先ネットワークタイプ	P.144
通信事業者	P.143

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

- テザリング（P.104）を有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。

利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「アクセスポイント名」 → **：** → 「新しいAPN」
- 3 各項目を入力 → **✓**

■ お知らせ

- アクセスポイントの設定の際に、MCC/MNCを初期値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、初期設定にリセットするか、アクセスポイントを追加し直してください。

アクセスポイントを初期化する

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「アクセスポイント名」 → **：** → 「初期設定にリセット」

テザリング機能を利用する

テザリングとは、本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-FiやUSBケーブル A to C 01（別売品）で接続したWi-Fi対応通信機器やパソコンを、インターネットに接続できるようにする機能です。

Wi-Fiブリッジ機能とは、本端末が接続しているWi-Fiネットワークを、他のWi-Fi対応通信機器と共有できる機能です。

- テザリング機能で同時に接続できる機器数は、Wi-Fi対応通信機器8台、USBケーブル A to C 01で接続したパソコン1台の計9台です。
- Wi-Fiブリッジ機能で同時に接続できる機器数は4台です。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応通信機器をインターネットに接続できます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」
- 2 「Wi-Fiテザリング」 → ネットワーク名の をタップしてONにする

■ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを有効にすると、パケット通信に切り替わります。
- 接続できる通信端末の数を変更するには、ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiテザリング」 → 「Wi-Fiテザリング設定」 → 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける → 「許可されている最大接続数」をタップし、ユーザー数を選択します。
- Wi-Fiテザリングで接続されている通信機器を確認するには、ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiテザリング」 → 「デバイスリスト」をタップします。接続中の通信機器を選択 → 「切断」 → 「OK」をタップすると、通信機器の接続を拒否できます。

■ ネットワーク名および暗号化タイプ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワーク名は「d-02K」、暗号化タイプは「WPA2 PSK」、パスワードは端末ごとに異なる12桁の英数字が設定されています。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」
- 2 「Wi-Fiテザリング」 → 「Wi-Fiテザリング設定」
- 3 ネットワーク名および暗号化タイプ（パスワード）を確認

- をタップすると、パスワードを表示できます。

■ ネットワーク名および暗号化タイプ（パスワード）を変更する場合

- ① ネットワーク名および暗号化タイプ（パスワード）を変更 → 「保存」
 - 暗号化タイプは「なし」または「WPA2 PSK」から選択できます。



■ お知らせ

- 「データの初期化」（P.132）を行うと、パスワードも初期化されます。

Wi-Fiブリッジを設定する

本端末が接続しているWi-Fiネットワークを共有して、他のWi-Fi対応通信機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fiネットワークに接続しているときのみ利用できます。



- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」
- 2 「Wi-Fiブリッジ」 → ネットワーク名の  をタップしてONにする

■ お知らせ

- Wi-Fiテザリングを有効にすると、Wi-Fiブリッジ機能は自動的にオフになります。

■ ネットワーク名およびパスワードを確認する

お買い上げ時は、ネットワーク名は「(接続中のWi-Fiアクセスポイント名)ブリッジ」、パスワードは端末ごとに異なる12桁の英数字が設定されています。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」
- 2 「Wi-Fiブリッジ」 → 「Wi-Fiブリッジの設定」
- 3 ネットワーク名およびパスワードを確認
 -  をタップすると、パスワードを表示できます。

■ ネットワーク名およびパスワードを変更する場合

- ① ネットワーク名およびパスワードを変更 → 「保存」



■ お知らせ

- 「データの初期化」(P.132)を行うと、パスワードも初期化されます。


USBテザリングを設定する

本端末をUSBケーブル A to C 01 (別売品) を使用してパソコンに接続し、アクセスポイントとして利用することで、パソコンをインターネットに接続できます。

- 本端末との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「外部機器接続」(P.140)をご参照ください。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01 で接続
 - 「USB使用」画面が表示された場合は、「キャンセル」をタップします。
- 2 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「テザリング」
 - 「USBテザリング」の下に「USB接続中。テザリングを有効にする」と表示されていることを確認してください。
- 3 「USBテザリング」の  をタップしてONにする

■ USBテザリングの設定を解除する場合

- ① 「USBテザリング」の  をタップしてOFFにする
- ② パソコン側のタスクトレイで本端末の安全な取り外しを行う
- ③ USBケーブル A to C 01 を取り外す


■ お知らせ

- USBテザリング設定中は、本端末のmicroSDカードまたは内部ストレージをUSBストレージとしてパソコンから利用することはできません。



VPNに接続する

VPN (Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。


VPNを追加する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「VPN」
VPN設定画面が表示されます。
- 2 「VPNネットワークの追加」
 - VPNのご利用には、画面ロックの解除方法を設定しておく必要があります。画面ロックの解除方法についての注意画面が表示された場合は、注意文を確認して「設定」をタップした後、画面の指示に従って設定してください。
- 3 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定
 - 「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。
- 4 「保存」

VPNに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「VPN」
- 2 接続するVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力 → 「接続」
VPNに接続するとステータスバーに  が表示されます。

VPNを切断する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「VPN」
- 2 切断するVPNをタップ → 「切断」
VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。


SIM情報設定を行う

通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定します。SIM情報の設定や確認、ドコモeSIMカードの初期化などができます。

SIM情報を設定する

SIM情報の初期設定が終了していない場合、「SIM情報設定」から設定できます。

認証操作が必要になる場合があります。あらかじめ画面ロックの解除方法を設定しておいてください (P.118)。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「SIM情報設定」

2 認証を行う

- SIM情報設定画面が表示されます。
- 画面ロックが設定されていない場合は「画面ロック設定へ」 → 画面の指示に従って設定し、再度「SIM情報設定」をタップしてください。

3 「設定する」

- サーバー接続確認画面が表示されます。

4 「設定する」

- EID (eSIMカード識別番号) の入力画面が表示されます。

5 EID (eSIMカード識別番号) の下4桁を入力 → 「OK」

- EID (eSIMカード識別番号) は、本端末が入っていた箱の側面にあるラベルを確認して入力してください。
- 設定が完了すると、通知音とともに「処理が正常に終了しました。電話番号 XXX-XXXX-XXXX」と通知される場合があります。

■ お知らせ

- 回線契約中のSIM情報が有効に設定されている状態でSIM情報を追加設定する場合は、パケット通信料がかかる場合があります。

SIMカード、接続サーバーの設定をする

EIDの表示や認証設定の変更などができます。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「SIM情報設定」

- 認証画面が表示された場合は、認証を行ってください。

2 

項目		説明
設定	認証設定	「SIM情報設定」を選択したときに画面ロックの解除方法の入力による認証をするかどうかを設定します。
	サーバー自動検知	接続するサーバーを自動的に検知するかどうかを設定します。
SIM情報追加		P.107
SIM情報追加 (QRコード利用)		QRコードを読み取り、SIM情報をサーバーからダウンロードして追加します。「直接入力」をタップすると、接続するサーバーアドレスを入力してSIM情報を追加できます。
サーバーアドレス表示・変更		接続するサーバーアドレスを確認・変更します。
SIMカード初期化		ドコモeSIMカード内のすべてのSIM情報を削除します。初期化すると通信ができなくなり、サーバーアドレスも初期化されます。 <ul style="list-style-type: none">• 「データの初期化」(P.132)を行っても、SIM情報は削除されません。
EID表示		EID (eSIMカード識別番号) を表示します。


項目	説明
利用規約	プライバシーポリシーや利用規約を表示します。
アプリ情報	アプリの情報を表示します。
アプリ終了	SIM情報設定アプリを終了します。

■ お知らせ

- SIM情報が有効に設定されていないと、モバイル通信および一部のアプリが利用できません。
- ドコモをご利用中の場合は、サーバーアドレスを変更しないでください。
- ドコモeSIMカードを初期化しても、回線契約は解約されません。

SIM情報を確認・設定する


SIM情報設定画面では、SIM情報を確認できます。また、SIM情報の表示名を変更したり、有効／無効を設定したりできます。お買い上げ時（初期設定後）は「NTT DOCOMO」が表示名に設定されています。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「SIM情報設定」
 - 認証画面が表示された場合は、認証を行ってください。
 - SIM情報が複数設定されている場合は、設定するSIM情報をタップしてください。

項目	説明
通信会社	SIM情報を提供する通信会社が表示されます。
ICCID	SIM情報の識別番号が表示されます。
編集	SIM情報の表示名を設定します。
無効にする／有効にする	SIM情報の状態を有効／無効に切り替えます。

デバイス接続


Bluetooth機能の設定をしたり、USB使用モードを切り替えたりするなど、外部機器との接続に関する設定をします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「デバイス接続」

項目	説明
Bluetooth	P.137
USB	本端末とパソコンなどの外部機器をUSBケーブルA to C 01（別売品）で接続しているとき、USB使用モードを切り替えます。
印刷	印刷サービスのアプリ（プラグイン）を追加して、本端末から印刷ができるように設定します。

アプリと通知


本端末にインストールされているアプリを管理します。また、アプリの通知について設定することもできます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」

項目	説明
アプリ	P.109
権限	機能ごとに権限を確認・変更します。
デフォルトアプリ	優先して使用するアプリの設定を確認・変更します。
通知設定	P.110

アプリを管理する

本端末にインストール済みのアプリの情報を確認したり、アプリを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。


- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」
- 2 アプリをタップ
 - アプリ情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。
 - 「その他」 → 「システムプロセスを表示」をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

■ お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリは、アンインストールできない場合があります。
- 手順2で「設定」をタップすると、アプリの権限やアプリリンクなどの設定を変更できます。

アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスは、無効化できる場合があります。無効化したアプリは実行されなくなりますが、アンインストールはされません。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」
- 2 無効化したいアプリをタップ → 「無効にする」
- 3 表示される注意文を確認して「アプリを無効にする」

■ お知らせ

- ホーム画面やアプリ画面のアプリを無効化すると表示されなくなります。
- アプリを有効化するには、手順2で有効化したいアプリをタップ → 「有効にする」をタップします。
- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

アプリのデータやキャッシュを消去する

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」
- 2 アプリを選択 → 「ストレージ」 → 「データを消去」 / 「キャッシュを消去」
 - 「データを消去」を選択した場合は「OK」をタップします。

アプリの設定をリセットする

アプリの無効化や特定の操作で使用するデフォルトのアプリなどの設定をすべてリセットします。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」
- 2 「その他」 → 「アプリの設定をリセット」 → 「リセット」

通知設定

通知の設定をします。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「通知設定」

項目	説明
アプリの通知	各アプリからの通知を表示するかどうかを設定します。
LED通知	メッセージ (SMS) の受信時などに通知LEDを点滅させて通知します。
端末がロックされているとき	ロック画面にすべての通知を表示するかどうかを設定します。

電池

電池残量表示やバッテリーセーバーを設定したり、内蔵電池の残量や使用状況を確認したりできます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「電池」


項目	説明
電池性能表示	内蔵電池の充電能力を確認します。
××% あと約××	電池残量と使用可能時間 (目安) が表示されます。
前回のフル充電	最後にフル充電してからの使用時間を表示します。
フル充電からの画面の電池使用状況	最後にフル充電してからの画面の使用時間を表示します。
バッテリーセーバー	指定した電池残量になったとき、本端末の動作や機能を制限して使用可能時間を延ばすようにするかどうかを設定します。
電池残量	ステータスバーの電池アイコンの左側に電池残量を表示するかどうかを設定します。
明るさの自動調節	周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整するかどうかを設定します。
前回のフル充電から使用	前回のフル充電から電池を使用したアプリや機能が表示されます。

■ お知らせ

- アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします (バッテリー最適化)。バッテリー最適化の設定を変更するには、ホーム画面で → 「アプリ」 タブ → 「設定」 → 「アプリと通知」 → 「アプリ」 → 「設定」 → 「特別なアクセス」 → 「バッテリー最適化を無視」 → 「許可」 → 「すべてのアプリ」 → 設定を変更するアプリを選択 → 「許可しない」 / 「許可」 → 「OK」をタップします。

データ使用量



モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、データ使用量の上限を設定してモバイルデータ通信を制限したりできます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「データ使用量」


項目	説明
使用量	「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量が表示されます。
データセーバー	P.111
モバイルデータ	P.111
モバイルデータ使用量	アプリ／機能ごとのモバイルデータ使用量を確認します。
請求期間	P.112
Wi-Fiデータ使用量	アプリ／機能ごとのWi-Fiデータ使用量を確認します。
ネットワーク制限	バックグラウンドでの使用を制限するWi-Fiネットワークを設定します。

データセーバーを設定する



アプリがバックグラウンドで行うデータ通信を制限し、モバイルデータ通信量を減らすことができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「データ使用量」
- 2 「データセーバー」
- 3 「データセーバー」の  をタップしてONにする

■ お知らせ


- バックグラウンドでのデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順3で「データ通信を制限しないアプリ」→設定するアプリの  をタップしてONにします。

モバイルデータ通信を有効にする

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「データ使用量」
- 2 「モバイルデータ」の  をタップしてONにする
モバイルデータ通信が有効になります。

請求期間を設定する

モバイルデータ通信の使用量を測定する期間を設定したり、モバイルデータ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「データ使用量」
- 2 「請求期間」

項目	説明
請求期間	データ使用量を測定する期間を設定します。
警告するデータ通信量を設定	データ使用量が一定値に達すると、警告を表示するかどうかを設定します。
データ警告	データ使用量の警告値を設定します。
データ上限の設定	データ使用量の上限を指定するかどうかを設定します。
データ上限	データ使用量の上限値を設定します。

■ お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量はMy docomoからご確認ください。
- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が無効となります。ご注意ください。
モバイルデータ通信を有効にするには、一時停止中をお知らせする画面で「データ接続を再度有効にする」をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ → 「モバイルデータが無効になりました」 → 「データ接続を再度有効にする」をタップします。

画面

画面の明るさやスリープなどについて設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「画面」

項目	説明
画面の明るさ	P.113
カラーモード	P.113
スリープ	画面が消灯するまでの時間を設定します。
視力保護	目の疲れを軽減するために画面から発せられる青い光を弱くするように設定したり、機能をONにしたときの色温度を設定したりします。
ホーム画面切り替え	P.47
壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
文字サイズ	文字サイズを設定します。
スマート解像度	自動的に解像度を低くして消費電力を節約するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">対応するアプリを利用中の場合のみ機能します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを有効にします。
画面の自動回転	P.34

画面の明るさを調整する

- 1 ホーム画面で \boxplus →「アプリ」タブ→「設定」→「画面」
- 2 「画面の明るさ」のスライダーを左／右にドラッグ
 - 「自動」にチェックを付けると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

画面の色温度を調整する

暖色／寒色のバランスを調整できます。

- 1 ホーム画面で \boxplus →「アプリ」タブ→「設定」→「画面」→「カラーモード」
- 2 カラーサークル内の設定する色の領域をタップ
 - 「デフォルト」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
 - 「暖色」を選択すると黄色味が強くなり、「寒色」を選択すると青色味が強くなります。

音

通知音などの音量やマナーモード、操作時の音／バイブレーションを設定します。

- 1 ホーム画面で \boxplus →「アプリ」タブ→「設定」→「音」

項目	説明
通知	P.114
メディア	
アラーム	
マナーモード	マナーモード（サイレント）を設定します（P.114）。
マナーモード時のバイブ	マナーモード（バイブ）を設定します（P.114）。
通知の鳴動制限	P.115
通知	通知音を設定します。
Histenサウンド効果	本端末に接続した市販のイヤホンやヘッドホンのサウンド効果を設定します。
画面ロック*	画面ロック／ロック解除時に画面ロックの音を鳴らすかどうかを設定します。
画面タップ*	アプリやメニューなどをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ*	ソフトキー（P.43）をタップしたり、画面ロックの解除パターンやPINを入力したりした場合などに、バイブレーションを動作させるかどうかを設定します。

項目	説明
ナビゲーションキー振動*	指紋センサーをロングタッチしたとき、バイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「システムナビゲーション」(P.130)を「画面外ナビゲーションボタン」に設定したときに動作します。

*「その他のサウンド設定」をタップすると表示されます。

音量を調節する

通知音、メディア再生音、アラームの音量を調節できます。

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「音」
- 2 「通知」／「メディア」／「アラーム」のスライダーを左／右にドラッグ

■ お知らせ

- 音量キーを押す → 音量調整バーの をタップすると、メディア再生音やアラームなどの音量を調節できます。

マナーモードを設定する

公共の場などで、本端末から鳴る音を周囲に出さないように設定します。

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、スクリーンショット音はスピーカーから鳴ります。
- マナーモードを設定しても、音楽・動画の再生音やアラーム音は鳴りますが、「音」(P.113)の「メディア」と「アラーム」で音を鳴らさないようにできます。

マナーモード(サイレント)を設定する

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「音」
音設定画面が表示されます。
- 2 「マナーモード」の をタップしてONにする
 - 音量キーを押して音量調節バーを表示 → ステータスバーに が表示されるまで音量下キーを押す → 「ミュート」の をタップしてONにしても、マナーモード(サイレント)を設定できます。

マナーモード(バイブ)を設定する

- 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「音」
音設定画面が表示されます。
- 2 「マナーモード」の をタップしてONにする
- 3 「マナーモード時のバイブ」の をタップしてONにする
 - 音量キーを押して音量調節バーを表示 → ステータスバーに が表示されるまで音量下キーを押しても、マナーモード(バイブ)を設定できます。

通知の鳴動制限を設定する

通知があるときに通知音やバイブレーションが鳴動しないようにする、通知の鳴動制限機能の設定を行います。

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「音」 → 「通知の鳴動制限」

項目	説明
今すぐ有効にする	「通知鳴動制限モード」で指定した通知の鳴動制限機能のON/OFFを設定します。
時間帯	自動で通知の鳴動制限機能をON/OFFにするための時間ルールを設定・管理します。
予定	自動で通知の鳴動制限機能をONにするための予定ルールを設定・管理します。「返信」を設定すると、他の相手から会議などの予定を受信したとき、本端末からの返信内容に従って通知の鳴動制限機能を自動でONにできます。
新規追加	自動で通知の鳴動制限機能をON/OFFにするためのルールを追加します。
通知鳴動制限モード	通知の鳴動制限機能のモードを選択します。
優先度の高い着信／通知を定義	通知鳴動制限モードを「優先度の高い通知のみ鳴動」に設定したときの通知条件を設定します。

■ お知らせ

- 「返信」を利用するには、Googleアカウントなどカレンダー同期機能のあるアカウントの登録が必要です。

ストレージ

本端末のメモリ使用状況を確認したり、ストレージの合計容量／空き容量を確認したりできます。

- ### 1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「ストレージ」
- microSDカードやUSBストレージの取り付け状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
メモリ	平均メモリ使用量やアプリのメモリ使用状況を確認します。
内部ストレージ	内部ストレージの合計容量および空き容量を表示します。 <ul style="list-style-type: none">タップすると、アプリやデータの種類ごとの使用容量を確認できます。
SDカード	microSDカードの合計容量および空き容量を表示します。 <ul style="list-style-type: none">タップして「取り出し」をタップすると、microSDカードのマウントを解除します。再度microSDカードを認識させるには、「SDカード」→「マウント」をタップします。タップして「フォーマット」をタップすると、microSDカードをフォーマット（初期化）します (P.116)。
USBドライブ	USBストレージの合計容量および空き容量を表示します。 <ul style="list-style-type: none">タップして「取り出し」をタップすると、USBストレージのマウントを解除します。再度USBストレージを認識させるには、「USBドライブ」→「マウント」をタップします。タップして「フォーマット」をタップすると、USBストレージをフォーマット（初期化）します (P.116)。


項目	説明
デフォルトの保存場所	ダウンロードやスクリーンショットしたデータの保存先を設定できます。

■ お知らせ

- 内部ストレージの空き容量が少なくなると、本端末の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリを削除してください。
- USBストレージの取り外しは、USBストレージをマウント解除してから行ってください。また、microSDカードの取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。
- microSDカードを暗号化 (P.123) している場合、「デフォルトの保存場所」は表示されません。また、ユーザー/ゲスト (P.125) を追加している場合は、保存場所をmicroSDカードに変更できません。
- 「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDカードの「取り出し」や「フォーマット」の操作ができません。


microSDカード/USBストレージをフォーマットする

microSDカード/USBストレージをフォーマット (初期化) します。フォーマットを行うとmicroSDカード/USBストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「ストレージ」
- 2 「SDカード」 / 「USBドライブ」 → 「フォーマット」
- 3 「消去してフォーマット」 → 「完了」
 - 消去されたデータは元に戻せません。

セキュリティとプライバシー

セキュリティについての設定をします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」

項目	説明
Google Play プロテクト	本端末を定期的にはスキャンして、セキュリティリスクがないかを確認するように設定します。
端末を探す	「端末を探す」機能を利用するかどうかを設定します。
指紋ID	P.117
画面ロックとパスワード	P.118
ファイルのSafeボックス	Safeボックス (P.135) を表示します。
位置情報サービス	P.86
その他	P.119

指紋IDを利用する

本端末に指紋を登録することで、指紋認証機能を利用して画面ロックの解除などができます。指紋認証は、登録した指で指紋センサーに触れて行います。

指紋認証機能を利用する

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は指紋の特徴情報を利用するため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - 指に汗や脂などが多く付着して汚れている／濡れている
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 手荒れや、指に損傷（切り傷やただれなど）がある
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時と認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーが汚れると認証性能が低下したり、指紋の読み取りができなくなったりすることがあります。指紋センサーの表面は時々清掃してください。
- ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。指紋センサーに傷が付くことがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。

指紋を登録する

指紋認証に利用する指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「セキュリティとプライバシー」→「指紋ID」



指紋ID画面が表示されます。

- 画面ロックの解除方法の選択画面が表示されたときは、画面の指示に従って解除方法を設定してください。設定した画面ロックの解除方法は、指紋認証ができない場合に利用します。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は、設定した解除方法を入力します。

2 「新しい指紋」→画面の指示に従って操作→「OK」


- 登録の完了後に「名前変更」をタップすると、指紋の名前を変更できます。

■ お知らせ

- 画面ロックの解除時に指紋認証を利用しない場合は、指紋ID画面で「画面ロックの解除」の  をタップしてOFFにします。
- Safeボックス (P.135) を開くときに指紋認証を利用する場合は、指紋ID画面で「Safeボックスへのアクセス」の  をタップ→画面の指示に従って操作します。
- 登録した指紋を削除するには、指紋ID画面で削除する指紋をタップ→「削除」→「削除」をタップします。
- 登録した指紋の指を確認するには、指紋ID画面で「指紋認識」→画面の指示に従って操作します。


指紋認証を行う

1 ロック画面／指紋認証画面で、指紋センサーに登録した指で触れる

- ロック画面で  をタップするか、Safeボックスの指紋認証画面でパスワードの入力に切り替える項目をタップすると、設定した画面ロックの解除方法またはSafeボックスのパスワードを入力してロックを解除できます。

■ 指紋認証に失敗した場合


指紋認証に5回続けて失敗すると、30秒後に指紋認証の再試行を促すメッセージが表示されます。

- ロック画面で  をタップするか、指紋認証画面でパスワードの入力に切り替える項目をタップすると、画面ロックの解除方法またはSafeボックスのパスワードを入力してロックを解除できます。

画面ロックとパスワードを設定する

画面ロックについての設定をします。

1 ホーム画面で →「アプリ」タブ→「設定」→「セキュリティとプライバシー」→「画面ロックとパスワード」

項目	説明
画面のロック	P.118
安全なロック設定	画面ロックの解除方法を「ロックなし」「タッチ」以外に設定している場合に表示され、画面ロックに関する動作を設定します (P.119)
Smart Lock	本端末の持ち運びを検知したときや、登録した場所、端末を認識したとき、ロック画面の  をタップするだけで画面ロックを解除できるように設定します。また、音声を認識したときに自動で画面ロックを解除することもできます。 <ul style="list-style-type: none">画面ロックの解除方法を「タッチ」や「ロックなし」以外に設定した場合に利用できます。
ロック画面に署名を表示	ロック画面に表示する署名を入力します。


画面ロックの解除方法を設定する

電源を入れるたびに、またはスリープモードを解除するたびに、設定した画面ロックの解除方法の入力を必要とするかどうかを設定できます。

1 ホーム画面で →「アプリ」タブ→「設定」→「セキュリティとプライバシー」→「画面ロックとパスワード」→「画面のロック」

- 画面ロックの解除方法を「ロックなし」「タッチ」以外に設定している場合は、設定した解除方法を入力します。

- 解除方法を設定すると、指紋登録の確認画面が表示されます。「キャンセル」をタップすると、「画面ロックとパスワード」画面に戻ります。

項目	説明
タッチ	 をタップして画面ロックを解除するように設定します。
パターン	4つ以上の点を結ぶパターンを設定し、パターンの入力で画面ロックを解除するように設定します。
PIN	4～16桁の数字で画面ロックを解除するように設定します。
パスワード	英字1文字以上を含む4～16桁の英数字と半角記号のパスワードで、画面ロックを解除するように設定します。
ロックなし	ロック画面を表示しないように設定します。

2 「安全なロック設定」

- 設定した解除方法によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
パターンを表示する	画面ロックを解除するときに指でなぞったパターンの軌跡を表示するように設定します。
自動ロック	自動的に画面が消灯してから画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにデバイスをロックする	電源キーを押して画面を消灯したときに画面ロックをかけられるように設定します。

■ 画面ロックの解除に失敗した場合

パターン、PIN、パスワードを設定している場合に、入力が5回続けて失敗すると、1分後に再度入力するようメッセージが表示されます。

- パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ お知らせ

- 「ロックなし」／「タッチ」以外に設定した場合、「データの初期化」(P.132)を行うときに、設定した解除方法の入力が必要になります。



その他の設定

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」 → 「その他」

- 「画面のロック」や「SDカードパスワードを設定」の設定、取り付けたmicroSDカードの状態により、表示される項目は異なります。

項目	説明
SIMカードロック設定	ドコモeSIMカードをロックします(P.122)。タブレット使用時に、PIN入力が必要になります。
SDカードパスワードを設定	P.123
SDカードパスワードを変更	microSDカードのパスワードを変更します。
SDカードパスワードを消去	microSDカードのパスワードを消去して暗号化を解除します。
SDカードのロック解除	別の機器で暗号化されたmicroSDカードを本端末に取り付けたとき、パスワードを入力してmicroSDカードのロックを解除します。 <ul style="list-style-type: none"> パスワードの入力が5回続けて失敗すると、1分後に再度入力するようメッセージが表示されます。再度パスワードの入力が3回続けて失敗すると、10分後に再度入力するようメッセージが表示されます。しばらくしてから、正しいパスワードを入力し直してください。

項目	説明
SDカードパスワードを強制消去	別の機器で暗号化されたmicroSDカードを本端末に取り付けたとき、microSDカードのパスワードを忘れた場合などにパスワードを強制消去します。 <ul style="list-style-type: none"> 強制消去を実行するとmicroSDカードがフォーマットされ、保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。
パスワード入力時に入力した文字を一時的に表示する	パスワードの入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理	「端末を探す」などに対して、端末管理者権限を許可します。
不明なアプリをインストールする	P.123
ストレージタイプ	ストレージタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
ユーザー認証情報	保存されている認証情報を確認／削除します。
ストレージからのインストール	暗号化された証明書を内部ストレージまたはmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。 <ul style="list-style-type: none"> VPNの設定、Wi-Fi認証に関する証明書、ドコモのEAP-SIM認証に関する情報も消去されます。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェントを管理します。

項目	説明
画面の固定	画面をピン留めして、使用できるアプリを固定します。  をタップし、最近起動したアプリのサムネイルに表示される  をタップすると、画面をピン留めできます。画面の固定を解除するには、画面の指示に従って操作してください。
使用履歴にアクセスできるアプリ	使用履歴にアクセスできるアプリを管理します。

■ お知らせ

- 「デフォルトの保存場所」(P.116)を「SDカード」に設定している場合、「SDカードパスワードを設定」は表示されません。

本端末で利用する暗証番号について

本端末では、画面ロック機能で暗証番号を利用します。

■ 暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモeSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモeSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

PINコード

ドコモeSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.122）。

PINコードは、第三者によるドコモeSIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモeSIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PINロック状態）。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してください。

PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。



- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモeSIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■ お知らせ

- PINコードがロックまたはドコモeSIMカードがロックされた場合は、ドコモeSIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

dアカウント

dアカウントとは、ドコモが提供するアプリやサービスを利用するためのID/パスワードです。dアカウントを使用することで、モバイルネットワークやWi-Fiなどの回線の種類や、スマートフォンやタブレット、パソコンなどの端末の種類を問わずに、多彩なサービスをより便利に利用できます。

- dアカウントについて詳しくは、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「ドコモのサービス/クラウド」 → 「dアカウント設定」 →  → 「ヘルプ」をタップしてdアカウント設定のヘルプをご覧ください。

Googleアカウント


Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

- Googleアカウントの設定については、「アカウントを追加する」(P.126)をご覧ください。

SIMカードロックを設定する

ドコモeSIMカードの不正使用を防ぐため、電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定します。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります (PINロック状態)。


1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」 → 「その他」 → 「SIMカードロック設定」

2 「SIMカードをロック」の  → PINコードを入力 → 「OK」

「SIMカードをロック」がONになります。

■ PINコードを変更する

- SIMカードロックを有効にしている場合のみ変更できます。

1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」 → 「その他」 → 「SIMカードロック設定」

2 「SIM PINの変更」 → 現在のPINコードを入力 → 「OK」

3 新しいPINコードを入力 → 「OK」 → 新しいPINコードを再入力 → 「OK」

PINロックを解除する

- PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力



2 新しいPINコードを入力

3 新しいPINコードを再入力

microSDカードを暗号化する

microSDカードを暗号化し、不正なアクセスからデータを保護します。暗号化したmicroSDカードを他の機器に取り付けた場合は、パスワードを入力しないとmicroSDカードにアクセスできなくなります。

- 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」 → 「その他」 → 「SDカードパスワードを設定」
- 2 注意内容を確認 → 「次へ」
- 3 「パスワード」欄にパスワードを入力 → 「パスワードの確認」欄にパスワードを再入力 → 「完了」
 -  をタップすると、入力したパスワードを表示できます。



■ お知らせ

- 一部のmicroSDカードは暗号化に対応していません。未対応のmicroSDカードを暗号化しようとする、エラーメッセージが表示される場合があります。
- microSDカードの暗号化に対応していない機器に取り付けた場合、microSDカードは認識されません。

提供元不明のアプリのインストールを許可する

サードパーティのアプリなど、提供元が不明なアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
- 提供元が不明なアプリをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「セキュリティとプライバシー」 → 「その他」
- 2 「不明なアプリをインストールする」
- 3 インストールを許可するアプリを選択 → 「アプリのインストールを許可する」の  をタップしてONにする

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」

項目	説明
dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリデータバックアップ	本機能に対応したドコモアプリのデータを自動でデータ保管BOXにバックアップしたり、本端末に復元したりします。
ドコモアプリ管理	ドコモが提供するアプリのアップデートの確認などを行います。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況に合わせておすすめ使い方ヒントを表示するように設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
オートGPS	オートGPSの設定や、履歴の確認、低電力時動作設定などを行います。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報／プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモサービス初期設定	本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。

項目	説明
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

■ お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アカウント

ユーザーとアカウントの設定を行います。

ユーザー




本端末を共有して使用するユーザーやゲストを追加したり、ユーザーを切り替えたりできます（ユーザーやゲストが利用できる機能）。

- ユーザーやゲストが利用できる機能では、3人のユーザーと1人のゲストを追加でき、所有者と合わせて最大5人のユーザーで本端末を共有できます。

1 ホーム画面で → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」 → 「ユーザー」



項目	説明
あなた（所有者）	本端末所有者の写真や名前を登録します。
ユーザーを追加	ユーザーを追加します。 <ul style="list-style-type: none">追加したユーザーごとに、初期設定が必要になります。「制限されたプロフィール」を選択するとアプリとコンテンツの一覧が表示され、選択したアプリやコンテンツのみを使用できるように制限できます。
ゲストを追加	一時的に本端末を使用するゲストを追加します。

■ お知らせ


- 本端末の所有者が使用しているとき、ユーザーやゲストを追加できます。
- ユーザー／ゲストを追加した場合や、ユーザー／ゲストが使用中の場合は、アプリや機能などの表示が異なったり、利用が制限されたりします。
- 「制限されたプロフィール」を追加するときに表示されるアプリとコンテンツの一覧には、使用できるものだけが表示されます。また、一覧に表示されている項目の場合でも、制限の設定を変更できない場合があります。
- ユーザーを切り替えるには、使用者を選択 → 「ユーザーの切替」をタップするか、通知パネル（P.43）でユーザーアイコン（ など）をタップします。ただし、「制限されたプロフィール」で追加したユーザーに切り替える場合は、通知パネルから切り替えの操作を行ってください。
- ユーザー／ゲストを削除するには、所有者が使用中にユーザー／ゲストを選択 → 「ユーザーを削除」／「ゲストを削除」／ → 「削除」をタップします。ユーザー／ゲストが使用中の場合は、 → 「削除」をタップします。
- 「デフォルトの保存場所」（P.116）を「SDカード」に設定している場合は、ユーザー／ゲストを追加できません。

アカウント

Googleなど、オンラインサービスのアカウントを本端末に設定し、情報の同期やアップデートができます。

- 初期設定（P.40）でGoogleアカウントを設定しなかった場合は、GmailやGoogle Playなどの初回利用時にもアカウントの設定画面が表示されません。Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。
- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」 →  → 「データの自動同期」にチェックを付けると、Googleなどのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。


アカウントを追加する

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」
- 「アカウントを追加」
- 追加するアカウントのサービスをタップ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントの設定をする

アカウントの設定をします。


- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。
- 設定内容は選択したアカウントにより異なります。

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」
- アカウントの種類をタップ → 必要に応じて設定するアカウントをタップ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ お知らせ

- 同期させる項目を設定するには、手順2の後に同期する項目の  をタップしてONにします。


アカウントを手動で同期する

- ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」
- アカウントの種類をタップ → 必要に応じて同期するアカウントをタップ
- 「今すぐ同期」
 - 同期中に「同期をキャンセル」をタップすると、同期をキャンセルできます。

アカウントを削除する

本端末からオンラインサービスのアカウントや連絡先、設定情報などを削除します。

- 本端末からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「アカウント」
- 2 アカウントの種類をタップ → 必要に応じて削除するアカウントをタップ
- 3 「削除」 → 「削除」

■ お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。
- アカウントを他のアプリで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」(P.132)を行うとアカウントを削除できます。ただし、「データの初期化」を行うと、お買い上げ時の状態にリセットされるため、インストールしたアプリや登録情報などのデータが消去されます。


スマートアシスト

ユーザーの操作を補助する設定などを行います。

項目	説明
ユーザー補助	P.127
電源ON/OFFタイマー	P.128

ユーザー補助を設定する

ユーザーの操作を補助するアプリや機能についての設定をします。


- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「スマートアシスト」 → 「ユーザー補助」

項目	説明
TalkBack	TalkBackを利用するかどうかを設定します。TalkBackをONにすると、ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
選択して読み上げ	選択して読み上げを利用するかどうかを設定します。選択して読み上げをONにすると、画面右下の  をタップし、テキストなどをドラッグして、選択した範囲のテキストなどを音声で聞くことができます。
スイッチ アクセス	スイッチ アクセスを利用するかどうかを設定します。スイッチ アクセスを利用すると、1つまたは複数のスイッチで本端末を操作できます。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを利用するかどうかを設定します。


項目	説明
キャプション	動画の再生時にキャプションを表示するかどうかを設定したり、キャプションの言語や文字サイズなどを設定したりします。 • 動画によってはキャプションを表示できない場合があります。
拡大操作	画面をトリプルタップして、拡大・縮小できるようにします。
ポインタの動作停止後にクリック	マウスを本端末に接続して操作するとき、マウスポインタが停止したらクリックを行うようにするかどうかを設定します。
高コントラストテキスト	文字のコントラストを高くしてくっきりと表示するかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
大きなマウスポインタ	マウスを本端末に接続して操作するとき、大きなマウスポインタを表示するかどうかを設定します。
モノラル音声	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット	ショートカット操作でユーザー補助機能を有効にできるように設定したり、有効にするユーザー補助機能を選択したりします。
テキストの読み上げ	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
押し続ける時間	タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。
色反転	画面の色を反転させて表示するかどうかを設定します。
色補正	色補正を利用するかどうかを設定します。

電源ON/OFFタイマー

本端末の電源を自動的にON/OFFにするタイマーを設定します。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「スマートアシスト」→「電源ON/OFFタイマー」
- 2 「電源OFFタイマー」／「電源ONタイマー」の  をタップしてONにする
- 3 「電源をOFFにする時間」／「電源をONにする時間」→時間を入力→「OK」
- 4 「繰り返し」→繰り返し方法を選択

Googleのアカウントやサービスに関する、情報や設定の確認、変更、削除などができます。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「Google」
- 2 項目を設定

■ お知らせ

- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、手順2で「検索」→「音声」→「Bluetoothヘッドセット」の  をタップしてONにします。


本端末の端末情報を確認したり、言語と文字入力や日付と時刻などの設定をしたりします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」

項目	説明
タブレット情報	P.129
ソフトウェア更新	P.154
システムナビゲーション	P.130
言語と文字入力	P.131
日付と時刻	P.131
バックアップと復元	P.132
リセット	P.132
認証マーク	電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技術マークなどの情報が表示されます。

タブレット情報を確認する


本端末に関する各種情報を表示します。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「タブレット情報」

項目	説明
端末名	Bluetooth機器とペアリングするときや、Wi-Fi Direct対応機器と接続するときなど、他の機器に表示される本端末の名前を登録します。

項目	説明
型番	本端末のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。
ビルド番号	
Androidバージョン	
IMEI	
CPU	
RAM	
端末ストレージ	
画面	
Androidセキュリティパッチ	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
端末の状態	電池の状態や電池残量、お客様の電話番号などを表示します。
法律情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認します。
認証情報	認証情報が表示されます。


自分の電話番号を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「タブレット情報」
- 2 「端末の状態」
 - 「電話番号」欄に自分の電話番号が表示されます。

システムナビゲーション

指紋センサーをソフトキーとして使用するかどうかを設定します。

- お買い上げ時は、「仮想ナビゲーションバー」に設定されています。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「システムナビゲーション」

項目	説明
画面外ナビゲーションボタン	ソフトキーを非表示にします。代わりに、次の操作ができません。 <ul style="list-style-type: none"> • 指紋センサーをタップ：直前の画面表示に戻ります。 • 指紋センサーをロングタッチ：ホーム画面に戻ります。 • 指紋センサーを左右にスライド（スワイプ）：最近使用したアプリの一覧を表示します。 • 画面の下端を上にもスライド（スワイプ）：Googleアシスタントを起動します。
仮想ナビゲーションバー	ソフトキーを表示します。指紋センサーでは次の操作ができません。 <ul style="list-style-type: none"> • 指紋センサーをタップ：ホーム画面に戻ります。

言語と文字入力を設定する

本端末で使用する言語と文字入力についての設定をします。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「言語と文字入力」

項目	説明
言語	本端末の表示言語を設定します。
仮想キーボード	各入力方法の設定をしたり、利用する入力方法を追加したりできます。
物理キーボード	キーボードを本端末に接続して文字を入力するとき、画面にもキーボードを表示するかどうかを設定します。
デフォルトのキーボード	P.35
iWnn IME	iWnn IMEの設定をします。
ドコモ文字編集	アプリ情報や使いかたを確認したり、キー操作パイプ時間や常駐表示を設定したりします。
自動入力	自動入力アプリを選択します。
テキストの読み上げ	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
ポインタの速度	マウスやトラックパッドを使用する際の、ポインタの速度を設定します。

日付と時刻を設定する


日付と時刻についての設定をします。

- 1 ホーム画面で **田** → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「日付と時刻」

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。
日付設定	日付を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」をOFFにすると設定できます。
時刻設定	時刻を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」をOFFにすると設定できます。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。 「タイムゾーンを自動設定」をOFFにすると設定できます。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。

バックアップと復元を設定する

バックアップの設定をしたり、バックアップデータの自動復元を設定したりします。


- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「バックアップと復元」

項目	説明
データのバックアップ	Googleアプリのデータなどを、Googleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップに使用するGoogleアカウントを設定します。
Googleアカウント*	バックアップに使用するGoogleアカウントの確認や変更をしたり、自動復元などの設定をしたりします。
自動復元	アプリを再インストールするときに、バックアップした設定とデータを自動的に復元します。

* 「データのバックアップ」をONにすると表示されます。

リセットを行う

本端末の設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「リセット」

項目	説明
全ての設定をリセット	すべてのネットワーク設定、指紋、画面ロックの解除方法を含む、すべての設定をリセットします。
ネットワーク設定のリセット	すべてのネットワーク設定をリセットします。
データの初期化	本端末に設定したGoogleアカウントや、インストールしたアプリなどのデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none">• 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。• 撮影した写真やダウンロードした音楽のデータなどを含む、内部ストレージ内のすべてのデータも同時に消去したい場合は、「内部ストレージの消去」にチェックを付けます。• 実行するには、「タブレットをリセット」 → 「タブレットをリセット」をタップします。

■ お知らせ

- 初期化の操作を行うと工場出荷時の状態に戻り、各種設定も初期状態になります。ただし、SIM情報（P.107）は削除されません。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）


お買い上げ時の内部ストレージ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

項目	データ
Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ウェブブラウザなどでダウンロードしたファイル
Huawei	本端末で利用できるテーマデータ
HuaweiSystem	アプリが生成したログファイルやXMLファイルなどのデータファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音など
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音など
Sounds	音声レコーダーで録音したファイル
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directで受信したデータなど


ファイル

本端末の内部ストレージやmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示／再生したり、管理したりできます。

ファイルを表示／再生する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「ファイル」
- 2 「カテゴリ」タブ／「本体」タブ
- 3 「カテゴリ」タブの場合はカテゴリをタップ／「本体」タブの場合は「内部ストレージ」または「SDカード」をタップし、フォルダをタップ → ファイルをタップ
ファイルを表示／再生するアプリが起動し、ファイルを確認できます。
 - ファイルによっては、本端末で再生できない場合があります。

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「ファイル」
- 2 「本体」タブ → 「内部ストレージ」／「SDカード」
- 3 「新規フォルダ」 → フォルダ名を入力 → 「保存」
 - フォルダ内にフォルダを作成する場合は、フォルダをタップしてから操作します。

ファイルやフォルダの名前を変更する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面で名前を変更するファイルやフォルダをロングタッチ
- 2 「その他」 → 「名前の変更」
- 3 ファイル／フォルダ名を変更 → 「OK」

ファイルやフォルダをコピー／移動する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面でコピー／移動するファイルやフォルダをロングタッチ
 - 複数のファイルやフォルダをコピー／移動する場合は、操作するファイルやフォルダにチェックを付けます。
- 2 「コピー」／「移動」
- 3 コピー／移動先のフォルダを表示 → 「貼付け」／「移動」

ファイルやフォルダを削除する

- 1 ファイル／フォルダの一覧画面で削除するファイルやフォルダをロングタッチ
 - 複数のファイルやフォルダを削除する場合は、操作するファイルやフォルダにチェックを付けます。
- 2 「削除」 → 「削除」

ファイルやフォルダを検索する

- 1 「カテゴリ」タブのトップ画面の検索バーをタップ、またはファイル／フォルダの一覧画面で「検索」 → ファイル名などを入力

ファイル画面のメニュー

「その他」をタップすると、メニューが表示されます。

- カテゴリやフォルダによって、表示されるメニューは異なります。

■ 「カテゴリ」タブ／「本体」タブのトップ画面、「本体」タブ内の各フォルダ

項目	説明
設定	「ファイル」アプリの更新情報の確認や、表示設定などを行います。

■ 「カテゴリ」タブ内の各カテゴリ

項目	説明
小さい画像をフィルタ／サイズでフィルタしない	サイズが小さい画像を非表示にしたり、再表示したりします。
設定	「ファイル」アプリの更新情報の確認や、表示設定を行います。

■ 各ファイル／フォルダ選択時

ファイル／フォルダの一覧画面でファイルやフォルダなどをロングタッチすると、画面下部に次のメニューが表示されます。

- ファイルやフォルダなどの種類によって、表示されるメニューは異なります。

項目	説明	
コピー	ファイルやフォルダをコピーします。	
移動	ファイルやフォルダを移動します。	
削除	ファイルやフォルダを削除します。	
全て選択／選択を全て解除	ファイルやフォルダをすべて選択／解除します。	
その他	開く	ファイルを表示／再生します。
	共有	Bluetooth通信やメールなどで共有します。
	名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
	圧縮／フォルダに解凍	ファイルやフォルダを圧縮／圧縮ファイルを解凍します。
	詳細	ファイルやフォルダなどの詳細情報を確認します。
	Safeボックスに移動	P.136
	設定	ファイルを電話帳の写真や壁紙、通知音に登録します。
	お気に入り追加／お気に入りから削除	お気に入り追加／お気に入りから削除します。 • お気に入り追加したファイルやフォルダを表示するには、「カテゴリ」タブ画面の「ダウンロードとお気に入り」をタップします。
デスクトップショートカットを作成	ホーム画面にショートカットを作成します。	

Safeボックスを作成する

Safeボックスを利用して、パスワードを入力しないと開けないフォルダ(ボックス)にファイルを保存することができます。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「ファイル」
- 2 「カテゴリ」タブ／「本体」タブ
- 3 「Safeボックス」
 - はじめて操作する場合は、「有効化」をタップしてSafeボックスを有効化します。
- 4 「SDカード(推奨)」／「内部ストレージ」
- 5 「パスワードを入力」欄にパスワードを入力→「パスワードを確認」欄にパスワードを再入力→「次へ」
- 6 2つのパスワードセキュリティ質問について、タップして質問を選択→「回答」欄に回答を入力
- 7 「完了」

Safeボックスを追加する

- 1 Safeボックスの作成後、パスワードの入力画面で「SAFEボックスの切替」→「Safeボックスを作成」→以降、画面の指示に従って操作

■ お知らせ

- 複数のSafeボックスを作成している場合、パスワードの入力画面で「SAFEボックスの切替」をタップすると、利用するボックスを選択できます。

ファイルをSafeボックスに移動する

1 ファイルの一覧画面で、Safeボックスに移動するファイルをロングタッチ→「その他」→「Safeボックスに移動」

- Safeボックスを作成していない場合は、「有効化」をタップしてSafeボックスを作成します。

2 「OK」

■ お知らせ

- Safeボックス画面で「追加」→ファイルの種類を選択→ファイルを選択→「追加」→「OK」をタップしても、ファイルをSafeボックスに移動できます。

Safeボックス画面のメニュー

Safeボックス画面で「設定」をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
パスワード設定	パスワードを変更	パスワードを変更します。 • 変更する前のパスワードを入力する必要があります。
	セキュリティ質問を変更	セキュリティ質問と回答を変更します。 • パスワードを入力する必要があります。 • 表示されている質問をタップして、質問を選択します。
詳細設定	Safeボックスの切替	他のSafeボックスに切り替えます。 • パスワードを入力する必要があります。
	Safeボックスの場所	Safeボックスの場所を確認します。
SAFEボックスを削除する		Safeボックスを削除します。 • パスワードを入力する必要があります。 • 格納されているファイルを別の場所に移動させる場合は、パスワードを入力→「完了」→確認画面で「これらのファイルを別の場所に移動」にチェックを付ける→「OK」をタップして移動先を指定します。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth機器との間で、データの送受信ができます。

- 対応バージョンやプロファイルなどについては、「主な仕様」(P.156)をご参照ください。
- 本端末と接続するBluetooth機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 市販されているすべてのBluetooth機器との接続や動作を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意



- 本端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離20m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）からできるだけ離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいためご注意ください。正常に接続できない場合やテレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりする場合があります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LAN対応機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末と無線LAN対応機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をONにする

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」
- 2 「デバイス接続」→「Bluetooth」
Bluetooth設定画面が表示されます。
- 3 「Bluetooth」の  をタップしてONにする
ステータスバーに  が表示されます。
本端末が検出可能になります。

■ お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消費を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON/OFFは、電源を切っても変更されません。

本端末の名前を変更する

他のBluetooth機器で、本端末を検出したときに表示される名前を変更します。

- 1 Bluetooth機能をONにする
- 2 「端末名」→本端末の名前を入力→「保存」

ペアリング／接続

本端末と他のBluetooth機器でデータのやり取りができるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth機器とペアリング／接続する

- 1 Bluetooth機能をONにする
「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth機器が一覧表示されます。
 - Bluetooth機器が検出されない場合は、「検索」をタップすると再度検索されます。
- 2 ペアリング／接続を行う機器をタップ
「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth機器の名前が表示されます。
 - Bluetoothペア設定要求画面が表示された場合は、表示されているキーを確認して「ペアリング」をタップしてください。
 - 必要に応じてBluetoothパスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器同士が、同じBluetoothパスキーを入力する必要があります。Bluetoothパスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth設定画面を表示する

- Bluetooth機器とのペアリングを解除する場合
 - ① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称の①
 - ② 「ペアリング解除」
- Bluetooth機器との接続を解除する場合
 - ① 「ペアリングされたデバイス」欄の機器名称をタップ
 - ② 「OK」

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、①をタップして名前の変更や、プロフィールの設定変更などができます。

データの送受信


- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

- 1 相手側の機器からデータを送信
- 2 表示された通知で「受信」

受信を開始するとステータスバーにが表示されます。

■ お知らせ

- 手順2の通知が表示されなくなった場合は、ステータスバーにデータ受信通知アイコンが表示されている間にステータスバーを下にドラッグ→「Bluetooth共有：受信ファイル」→「受信」をタップして受信することができます。
 - 受信したファイルは、ステータスバーを下にドラッグ→「Bluetooth共有：受信したファイル」→ファイルをタップするか、Bluetooth設定画面で「受信したファイル」→ファイルをタップすると確認できます。
-

データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth機器に送信できます。

1 各アプリの共有メニューで「Bluetooth」

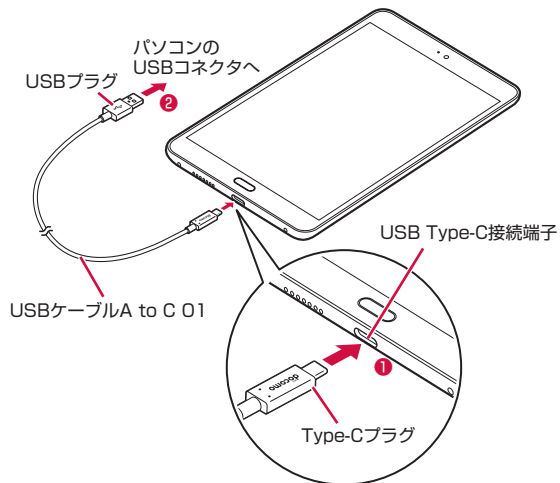
2 データを送信する相手側の機器をタップ

送信を開始するとステータスバーにが表示されます。

外部機器接続

パソコンと接続する

USBケーブルA to C 01（別売品）を使用して、本端末とパソコンを接続します。



- 1 USBケーブルA to C 01のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む (❶)
- 2 USBケーブルA to C 01のUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む (❷)

- 本端末と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 10（32ビットおよび64ビット）、 Windows 8.1（32ビットおよび64ビット）、 Windows 7（32ビットおよび64ビット）
メモリ容量*	512Mバイト以上（1024Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの 空き容量*	1000Mバイト以上

※ 動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本端末をUSBストレージとして使用する

本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 01（別売品）で接続して、内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 接続するパソコンの仕様や使用目的に応じて、接続モードを設定できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 01で接続する
ドライバが自動的にインストールされ、パソコンと接続されます。

2 「ファイルを送送」

- 「充電のみ」をタップすると、パソコンからは本端末が認識されず、充電のみが行われます。
- 「写真を送送」をタップすると、本端末の「DCIM」「Pictures」フォルダのみ表示されます。

3 パソコンを操作して、本端末の内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りする

本端末をパソコンから取り外すには

- 1 パソコン側で本端末の安全な取り外し操作を行う
- 2 USBケーブルA to C 01を取り外す

■ お知らせ

- 本端末とパソコンとの間でデータのやり取りをしているときにUSBケーブルA to C 01を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になります。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■ 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

■ お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850
メッセージ (SMS)	○	○	○
パケット通信*	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、「モバイルネットワーク」の「データローミング」(P.143) をONに設定する必要があります。

■ お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、「通知パネル」(P.43) で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。


接続について

モバイルネットワーク設定の「通信事業者」(P.143)の「自動的に選択」をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定


データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」をONに設定する必要があります。


- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」
- 2 「データローミング」の→注意文を読んで「OK」
 - 「データローミング」がONになります。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「通信事業者」
- 2 「自動的に選択」の→「OK」
 - ネットワークの検索を行います。
- 3 使用するネットワークをタップ

■ お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動的に選択」をONに戻す場合は、手順2で「自動的に選択」のをタップしてONにします。

優先ネットワークタイプの設定

- 1 ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「優先ネットワークタイプ」
- 2 「4G/3G」／「3G」
 - 「4G/3G」を選択すると、利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンを自動設定」がONの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻の設定について (P.131)

お問い合わせについて

- 本端末やドコモeSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「優先ネットワークタイプ」(P.144)を「4G/3G」に設定してください。
- 「通信事業者」(P.143)の「自動的に選択」をONに設定してください。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.154)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池切れになっていませんか。本端末を充電してください (P.29)。
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、電源キーを10秒以上押しと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない (通知LEDが点灯しない、ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない)	<ul style="list-style-type: none"> アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか (P.29)。 アダプタと本端末がしっかりと接続されていますか (P.29)。 ACアダプタ (別売品) をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか (P.29)。 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 操作中や充電中、また充電しながらアプリなどを長時間使用した場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 • 圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外の状態が続く場所では機内モードに設定するか (P.100)、電源を切ってください (P.30)。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。 • 使用していないアプリは終了してください。 • Wi-Fi機能 (P.100) やBluetooth機能 (P.137) を使用していないときは、設定をOFFにしてください。 • バッテリーセーバー (P.110) を設定すると、電池の消費を抑えることができます。
タッチパネルをタップしたり、ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源が切れていませんか (P.30)。 • スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください (P.31)。 • 本端末を強制的に再起動してください。電源キーを10秒以上押し、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
タッチパネルをタップしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • 本端末の内部ストレージに大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに発生する場合があります。
ドコモeSIMカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> • ドコモeSIMカードを正しい向きで挿入していますか (P.22)。
時計の時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none"> • 長い間、電源を入れた状態にしていると、時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」(P.131) が有効になっていることを確認して、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> ご購入後に本端末へインストールしたアプリが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。 セーフモードの起動方法 <ol style="list-style-type: none"> 1.本端末の電源を切る 2.電源を切った状態で電源キーを3秒以上押し、「NTT docomo」ロゴのみの表示になったら、本端末が起動するまで音量下キーを押し続ける ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ウィジェットやアプリが表示されなくなる場合があります。 セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してからご利用ください。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください(P.109)。

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none"> 画面の明るさを変更していませんか(P.113)。 指やシールなどで照度センサーをふさいでいませんか。

■ メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none"> メールのアカウント設定で、自動的に同期しない設定に設定していませんか。

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 人物を撮影するときは、顔検出機能(スマイルキャプチャ)を設定してください(P.77)。

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない (■が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none">• WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない (圏外が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none">• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。• ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G」に設定してください (P.144)。• 通信事業者の設定で「自動的に選択」をONにしてください (P.143)。• 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none">• 「データローミング」をONにしてください (P.143)。
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none">• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none">• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードを取り付け直してください (P.25)。• 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示や再生ができないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示や再生ができないことがあります。
画像を表示しようとする時「■」が表示される／画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 画像データが壊れている場合、「■」が表示されたり、灰色の画像が表示されたりします。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none">• Bluetooth通信対応機器 (市販品) 側をペアリング待ち受け状態にしてから、本端末側からペアリングを行う必要があります。ペアリング済みの機器を削除して再度ペアリングを行う場合には、Bluetooth通信対応機器 (市販品) と本端末の両方でペアリングした機器を削除した後、ペアリングを行ってください (P.138)。

■ 地図・GPS機能

症状	チェックする箇所
オートGPSサービス情報が設定できない	<ul style="list-style-type: none">• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。 「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります (P.29、P.124)。• 「オートGPS動作設定」が無効になっていませんか (P.124)。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
通信サービスなし	<ul style="list-style-type: none">サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。ドコモeSIMカードが正しく機能していません。ドコモeSIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
SIM PINを入力してください。残り試行回数：X	<ul style="list-style-type: none">PINコード (P.121) を正しく入力してください。
PUKコードを入力してください。(残り試行回数：n)	<ul style="list-style-type: none">PINロック解除コード (PUK) (P.122) を正しく入力してください。
PINロック解除コードがロックされていません	<ul style="list-style-type: none">PINロック解除コード (PUK) がロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
空き容量低下／一部のシステム機能が動作しない可能性があります	<ul style="list-style-type: none">内部ストレージまたはmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除 (P.135) して容量を確保してください。

あんしん遠隔サポート



お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモeSIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。


あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

- LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。


オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

- あんしん遠隔サポートセンターへ電話する
ドコモの携帯電話からの場合：(局番なしの) 15710（無料）
一般電話などからの場合： 0120-783-360
受付時間：午前9：00～午後8：00（年中無休）
- ホーム画面で→「アプリ」タブ→「遠隔サポート」
- 「接続画面に進む」→「同意する」
- ドコモからご案内する接続番号を入力する
- 接続後、遠隔サポートを開始する

Q&Aサイトで調べる

- ホーム画面で→「アプリ」タブ→「遠隔サポート」
- 「Q&Aサイト／アプリで調べる」

LINEでのお問い合わせ

- ホーム画面で→「アプリ」タブ→「遠隔サポート」
- 「LINEで問い合わせる」

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 自立スタンド、カードスロットピンは無料修理保証の対象外となります。
- 自立スタンド、カードスロットピンは試供品となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。

(5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。

(6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。

3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、すべて修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」(P.145)をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る。
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
 - 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
 - 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの最新化
Google社が公開しているセキュリティパッチ（脆弱性を対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページを表示→「お客様サポート」→「製品・サービスのご利用・ご活用情報」→「製品アップデート情報」→「提供中の製品アップデート情報」

https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/list/index.html

ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmopera!に設定してください。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモeSIMカード未挿入の状態ではWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。


- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから「ソフトウェアアップデート提供開始」、「ソフトウェアアップデート開始確認」の通知をタップし、更新を開始します。
 - 更新を促すポップアップから
更新をお知らせしてから一定期間経過後に定期的に表示される「アップデートが利用可能です」のポップアップから「OK」をタップし、更新を開始します。
 - 本体設定から
ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」をタップし、更新を開始します。
- ※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に「今すぐ更新」[後で]の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、以下のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

項目	説明
今すぐ更新	すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。
後で	時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。 あらかじめおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、「予約時刻変更」をタップ後に予約時刻を指定してください。 • 後から予約時刻を変更する場合は、ホーム画面で  → 「アプリ」タブ → 「設定」 → 「システム」 → 「ソフトウェア更新」 → 「予約時刻変更」をタップして予約時刻を設定してください。

2 再起動

更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。

- 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルをタップしてください。

3 更新完了の通知

更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに「ソフトウェアアップデート完了」が表示されます。

- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、「ソフトウェアアップデート完了」を選択すると最新の機能を紹介するページが表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態のよい場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

品名	dtab Compact d-02K	
サイズ	高さ約209mm×幅約120mm×厚さ約8.0mm	
質量	約309g	
メモリ	ROM	32GB*1
	RAM	3GB
連続待受時間	LTE	静止時（自動）：約690時間
	3G	静止時（自動）：約830時間
充電時間	ACアダプタ 07：約152分 DCアダプタ 05：約200分*2	
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約8.0インチ
	ピクセル数	ワイドUXGA 横1200×縦1920ピクセル
撮像素子	種類	アウトカメラ①：裏面照射型CMOS アウトカメラ②：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ①：1/3.0インチ アウトカメラ②：1/5.0インチ インカメラ：1/4.0インチ

カメラ	カメラ有効画素数	アウトカメラ①：約1300万画素 アウトカメラ②：約200万画素 インカメラ：約800万画素
	記録画素数（最大時）	アウトカメラ①：約1300万画素 アウトカメラ②：約200万画素 インカメラ：約800万画素
	デジタルズーム	アウトカメラ（静止画／動画）：最大約4.0倍（78段階） インカメラ（静止画／動画）：最大約3.0倍（54段階）
音楽再生	対応コーデック	MP3、WAV、AAC、AMR-NB、OGG、MIDI、FLAC
イヤホンマイクジャック	端子径	φ3.5mmイヤホンジャック
	極数	4極
言語	表示言語	日本語／英語
	入力言語（文字入力）	日本語／英語
	入力言語（音声入力）	Google 音声入力による
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n（2.4GHz／5GHz）／ac準拠

Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.4.2に準拠 ^{※3}
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	対応プロファイル ^{※4} (バージョン)	HFP ^{※5} (Hands-Free Profile) (1.6) HSP (Headset Profile) (1.2) OPP (Object Push Profile) (1.2) SPP (Serial Port Profile) (1.2) HID (Human Interface Device Profile) (1.0) A2DP ^{※6} (Advanced Audio Distribution Profile) (1.2) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) (1.4) PBAP (Phone Book Access Profile) (1.1) MAP (Message Access Profile) (1.2)

※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.115)をご参照ください。

※2 USBケーブル A to C 01 (別売品)を使用した場合の充電時間です。

※3 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※4 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

※5 音声コーデックmSBC (16kHz) に対応しています。

※6 音声コーデックaptX/SBCに対応しています。

● 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

- インターネット接続をしなくてもアプリを起動すると待受時間は短くなります。
- 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオンポリマー電池
公称電圧	3.82V
公称容量	4980mAh

■ ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は、以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 動画の撮影時間 (目安)

動画解像度	内部ストレージに保存できる撮影時間
FHD 1080p (1920×1080、ステレオ)	1件あたり最大約33分

データ通信端末の比吸収率 (SAR) などについて

データ通信端末の比吸収率 (SAR) について

この機種d-02Kは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.643W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

【ファーウェイジャパン】のホームページ

<https://consumer.huawei.com/jp/support/tablets/dtab-d-02K/>
本端末の「サポート」ページをご確認ください。URLは予告なく変更される場合があります。

^{*1} 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

^{*2} LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals

This model d-02K device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves *¹ and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.643 W/kg *². There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>
Association of Radio Industries and Businesses Website:
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>
[HUAWEI TECHNOLOGIES, JAPAN] Website:
<https://consumer.huawei.com/jp/support/tablets/dtab-d-02K/> (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

FCC Regulatory Compliance

■ Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).

The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.

The highest SAR value reported to the FCC for this device type when using in portable exposure conditions is 0.65 W/kg.

■ FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

EU Regulatory Conformance

■ Body worn operation

The device complies with RF specifications when used at a distance of 0.50 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement.

The highest SAR value reported for this device type when tested in portable exposure conditions is 0.93 W/kg.

■ Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.

The most recent and valid version of the DoC (Declaration of Conformity) can be viewed at <http://consumer.huawei.com/certification>.

This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

GPL/LGPL適用ソフトウェアについて

本端末には、GNU General Public License (GPL)、またはGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ライセンスの詳細を確認するには、ホーム画面で田→「アプリ」タブ→「設定」→「システム」→「タブレット情報」→「法律情報」→「オープンソースライセンス」で表示される内容、および本端末とパソコンを接続し、ドライバをインストールして (P.141)、以下の手順でフォルダ内のファイルをご参照ください。

- 1 パソコンで「PC」／「コンピューター」／「コンピュータ」を開く
 - ご利用のパソコンのOSにより、表示が異なります。
- 2 「CDドライブ (E:) d-02K」をクリック
 - ドライブ名 (E:) の部分は、ご利用のパソコンの設定により、表示が異なる場合があります。
- 3 「Document」→「Open Source Software Notice.pdf」の順にダブルクリック

GPLソースコードのダウンロード

本端末に含まれるGPLソースコードのダウンロードをご希望の場合は、下記のホームページから「d-02K」を検索してください。

<http://consumer.huawei.com/en/opensource>

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本端末を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。

商標

- 「dメニュー」、「dマーケット」、「FOMA」、「あんしんスキャン」、「あんしん遠隔サポート」、「i コンシェル」、「i コンシェルホーム」、「eトリセツ」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「dフォト」、「てがき翻訳」、「マイマガジン」、「LIVE UX」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「spモード」、「Xi」、「Xi/クROSSiY」、「エリアメール」、「トルカ」、「マチャカラ」、「WORLD WING」、「my daiz」および「dmenu」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「あんしんスキャン」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ドコモメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「スケジュール」ロゴ、「メモ」ロゴ、「i コンシェル」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「地図アプリ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。



- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Googleマップ」、「ハングアウト」、「ハングアウト」ロゴ、「Google Calendar」、「YouTube」、「YouTube」ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- harman/kardonはHARMAN International Industries, Inc.の登録商標です。
- **Qualcomm® aptX™**  はQualcomm Inc. (NASDAQ : QCOM) の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略称です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 Operating System (Pro、Enterprise) の略称です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1** 他社のSIMカードを取り付ける
- 2** 電源を入れる
- 3** SIMロック解除コードを入力する
- 4** 「ロック解除」

■ お知らせ

- SIMロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、SIMロックを解除できなくなります。

索引

あ

アイコン	41
アカウント	125, 126
削除	127
追加	126
同期	126
アクセスポイント	
spモード	103
Wi-Fi	100
Wi-Fiテザリング	104
アプリ	109
キャッシュを消去	110
設定をリセット	110
データを消去	110
無効化	109
アプリ一覧	52
アプリ画面	51
アプリと通知	109
アプリの権限	35
アラーム	88
暗証番号	121
位置情報サービス	86
ウェブブラウザ	68
エリアメール	66
遠隔サポート	151
オートGPS	124
音	113
音声エージェント	47
音声レコーダー	93
音量	114

か

壁紙	50
----	----

カメラ	73
撮影画面	74
撮影モード	77
静止画を撮影する	75
設定	76
動画を撮影する	76
画面	112
画面の明るさ	113
画面の自動回転	34
画面分割モード	47
画面ロックとパスワード	118
SIMカードロック設定	122
画面のロック	118
画面ロックの解除	31, 118
キッズモード	96
機内モード	100
ギャラリー	78
緊急速報	66
言語と文字入力	131
国際ローミングサービス	142
故障かな?と思ったら	145

さ

ジェスチャー	34
自局電話番号	
マイプロフィール	60
システム	129
システムナビゲーション	130
自分の電話番号	130
指紋ID	117
充電	28
ACアダプタ	29
DCアダプタ	30
仕様	156
初期化	132
初期設定	40
自立スタンド	31
スクリーンショット	34

スケジュール	91
作成	91
表示	91
ステータスアイコン	42
ステータスバー	41
ストップウォッチ	90
ストレージ	115
スマートアシスト	127
スライド (スワイプ)	33
スリープモード	31
静止画	
再生	81
撮影	75
世界の時刻	89
セキュリティとプライバシー	116
設定の切り替えかた	34
設定メニュー	99
ソフトウェアアップデート	154
ソフトキー	43

た

タイマー	90
タスクマネージャー	46
タッチパネル	32
タップ	32
ダブルタップ	32
タブレット情報	129
端末をリセット	132
通知LED	40
通知アイコン	41
通知音	113
通知設定	110
通知の鳴動制限	115
通知パネル	43
データ使用量	111
データセーバー	111
テザリング	
USBテザリング	105

Wi-Fiテザリング	104
Wi-Fiブリッジ	105
デバイス接続	108
電源ON/OFFタイマー	127
電源を入れる/切る	30
電卓	93
電池	110
電話帳	59
インポート/エクスポート	62
グループ	61
登録	59
動画	
再生	81
撮影	76
時計	88
ドコモeSIMカード	22
ドコモデータコピー	94
ドコモのサービス/クラウド	124
ドコモメール	63
ドラッグ	33
トルカ	85

な

内部ストレージ	115, 133
ナビ	86
ネットワーク暗証番号	121

は

バイブレーション	113
パソコンと接続	140
バックアップ	94, 132
バックアップと復元	132
日付と時刻	131
ピンチ	33
ファイル	133
ブックマーク	70
フリック	33

防水/防塵性能	16
ホーム画面	48, 49
ホーム画面「シンプル」	44
ホームアプリの切り替えかた	47

ま

マイプロフィール	61
マイマガジン	58
マナーモード	114
マナーモード (サイレント)	114
マナーモード (バイブ)	114
無線とネットワーク	100
メッセージ (SMS)	63
確認	64
作成/送信	63
メモ	92
目次	2
文字入力	35
キーボードタイプ	37
設定	39
デフォルトのキーボード	35
フリック入力	38
文字の編集	38
ユーザー辞書	39
モバイルデータ	111
モバイルネットワーク	103

や

ユーザー	125
ユーザー辞書	39
ユーザー補助	127
ユーザーやゲストが利用できる機能	125

ら

リセット	132
ロングタッチ	33

英数字

Bluetooth	
データの送受信	138
ペアリング/接続	138
Bluetooth通信	137
Chrome	68
docomo LIVE UX	48
dアカウント	122
dマーケット	83
dメニュー	83
Gmail	65
作成/送信	65
表示	65
Google	129
Googleアカウント	122, 126
Googleマップ	87
GPS	86
iWnn IME	36
microSDカード	25, 115
暗号化	123
取り付け/取り外し	25
フォーマット	116
PINコード	121
PINロック解除コード (PUK)	122
PINロックの解除	122
Playストア	84
アンインストール	84
インストール	84
SAR	158
SIM情報設定	107
USBストレージ	115
フォーマット	116
VPN	106
Wi-Fi	100
Wi-Fi Direct	102
YouTube	85

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー→「My docomo（お客様サポート）」

パソコンから My docomo（<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>）

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所に注意しましょう

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】(P.114)

通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。

※ただし、シャッター音は消せません。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先 (ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

潜在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.
'18.6 (1版)